

令和7年度

宮川公園整備工事

工 事 設 計 書

三浦市役所

都市環境部 土木課

位置図



施工箇所

令和 07 年度 設 計 積 算 書 表 紙 (当初)	
設 計 書 番 号	年度 07
事 業 所 名	三浦市
(工 事 ・ 業 務) 名	令和7年度 宮川公園整備工事
(工 事 ・ 業 務) 箇所	三浦市三崎町六合地内
(河 川 ・ 路 線 ・ 区 域) 名	宮川公園
単 価 採 用 地 区 名	横須賀
事 業 区 分	
工 期	
設 計 金 額	(円)
	円
設 計 概 要	複合遊具設置工 N=1基 パーゴラ設置工 N=1基 立入防止柵設置工 L=115m 張芝工 A=775m2
(起 工 ・ 変 更) 理由	

令和 07 年度 設 計 積 算 書 表 紙 (当 初)						
<支出科目>						
款						
項						
目						
目の細目						
節						
<合併区分情報>						
合併処理設定	しない					
	区 分 1					
	区 分 2					
	区 分 3					
	区 分 4					
	区 分 5					
	区 分 6					
	区 分 7					
	区 分 8					
	区 分 9					
<全体金額情報>						
	当初官積算額 (a)	当初請負額(b1) 前回変更請負額(b2)	今回変更官積算額 (c)	今回変更請負額 (d)=(b1)/(a)×(c)	増減 (d)-(b1) or (b2)	備 考
本工事費						
工事価格						
消費税等相当額						

令和 07 年度 積 算 諸 条 件 調 書 (当初)

経費等情報	主たる工種		公園工事		
	施工地域・工事場所区分		補正無し		
	現場環境改善費計上区分		計上しない		
	緊急工事による補正		補正しない		
	前払金支出割合		35%を超える場合		
	契約保証の方法		金銭的保証		
	間接工事費率補正（上記「施工地域・工事場所区分」、「契約保証」以外で補正がある場合）				
	共通仮設費率補正		0.00%		
	現場管理費率補正		0.00%		
	一般管理費率補正		0.00%		
	間接労務費・工場管理費計上区分				
	土木工事標準積算基準書 適用年版		令和07年7月1日適用		
	土木工事資材等単価表 適用年版		令和7年11月1日基準		
	週休割増補正区分		月単位<現場閉所>		
	ICT施工補正区分		補正しない		
	積算数量等情報	名称		採用数量	単位

(その他情報欄)

本 工 事 費 内 訳 書

(上段：前 回 下段：今 回)

費目	工種	種別	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
本工事費							
施設整備							
			1		式		
公園施設整備工							
			1		式		
公園施設整備工							
			1		式		
直接工事費計							
			1		式		
共通仮設費計							
			1		式		
共通仮設費（率分）							第 0001 号 内訳書
			1		式		
純工事費							【千円止】
			1		式		
現場管理費							【千円止】
			1		式		
工事原価							
			1		式		
一般管理費等							
			1		式		
工事価格							【万円止】
			1		式		
消費税及び地方消費税相当額							10.00%
			1		式		

本 工 事 費 内 訳 書

(上段：前 回 下段：今 回)

費目	工種	種別	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
本工事費計				式			
			1				

第0001号 内訳書
公園施設整備工

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0010) 土工		式			第0001号下内
	1				
(AMA0020) 基礎工		式			第0002号下内
	1				
(AMA0030) 公園施設整備工		式			第0003号下内
	1				
(AMA0040) 付帯工		式			第0004号下内
	1				
合 計					

第0001号 下位内訳書
AMA0010 土工

1 式 当り
適用年版 T0711
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(CB210030) 床掘り					第0001号単価表
	88	m3			
(CB210410) 埋戻し					第0002号単価表
	40	m3			
(CB210110) 土砂等運搬					第0003号単価表
	43	m3			
(TJ0010) 建設発生土処分料 確認処分、土質試験なし					
	43	m3			
合 計					
	1	式			円／式

第0002号 下位内訳書
AMA0020 基礎工

1 式 当り
適用年版 T0711
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(CB221110) 基礎碎石					第0004号単価表
	25	m2			
(CD240010) コンクリート					第0005号単価表
	0.5	m3			均しコンクリート
(CB240210) 型枠					第0006号単価表
	59	m2			
(CD240010) コンクリート					第0007号単価表
	5	m3			基礎コンクリート
合 計					
	1	式			円／式

第0003号 下位内訳書
AMA0030 公園施設整備工

1 式 当り
適用年版 T0711
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0010) 複合遊具設置工		基			第0008号単価表
	1				
(SJ0020) パーゴラ設置工		基			第0009号単価表
	1				
(WB610420) ベンチ据付		基			第0010号単価表
	7				
(SJ0030) 立入防止柵設置工		m			第0011号単価表
	115				
合 計					
		式			円／式
	1				

第0004号 下位内訳書
AMA0040 付帯工

1 式 当り
適用年版 T0711
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0040) 張芝工 野芝		m2			第0012号単価表
	775				
合 計					
		式			円／式
	1				

第0001号 単価表 機労材構成比情報
CB210030 床掘り

1 m3 当り
適用年版 T0711

名 称 / 規 格	東 京 単 価	構 成 比	地 区 単 価	明 細 情 報	摘 要
バックホウ(クローラ) [後方超小旋回型]			【損料】		M000202096
	排ガス型(第2次) 山積0.28m3		M000202096		
運転手(特殊)					R0114
	R0114				
普通作業員					R0102
	R0102				
軽油					Z006702002
	Z006702002				
標準単価		積算単価			
	1 m3		当り		
条 件 名 称					
J01 土質	入 力 値		条 件 値		
J02 施工方法	1		土砂		
J05 費用の内訳	5		上記以外(小規模)		
	1		全ての費用		

第0002号 単価表 機労材構成比情報
CB210410 埋戻し

1 m3 当り
適用年版 T0711

名 称 / 規 格	東 京 単 価	構 成 比	地 区 単 価	明 細 情 報	摘 要
バックホ(クロー) [後方超小旋回型]			【損料】		M000202096
排ガス型(第2次) 山積0.28m3	M000202096				
ランマ			【損料】		M000806001
質量60～80kg	M000806001				
普通作業員					R0102
	R0102				
特殊作業員					R0101
	R0101				
運転手(特殊)					R0114
	R0114				
軽油					Z006702002
	Z006702002				
カッソリン					Z006704001
レギュラー	Z006704001				
標準単価		積算単価			
	1 m3	当り		円/m3	
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 施工方法	5		上記以外(小規模)		
J02 土質	1		土砂		
J04 費用の内訳	1		全ての費用		

第0003号 単価表 機労材構成比情報
CB210110 土砂等運搬

1 m3 当り
適用年版 T0711

名 称 / 規 格	東 京 単 価	構 成 比	地 区 単 価	明 細 情 報	摘 要
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級			【損料】		M000301001
	MP03010010				
運転手(一般)					R0115
	R0115				
軽油					Z006702002
	Z006702002				
標準単価		積算単価			
	1 m3		当り		
条 件 名 称					
J01 土砂等発生現場	入 力 値		条 件 値		
J01 土砂等発生現場	2		小規模		
J02 積込機種・規格	6		バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3)		
J03 土質	1		土砂(岩塊・玉石混り土含む)		
J04 DID区間の有無	2		有り		
J16 運搬距離(km)(DID区間有)	7		4.5km以下		

第0004号 単価表 機労材構成比情報
CB221110 基礎碎石

1 m2 当り
適用年版 T0711

名 称 / 規 格	東 京 単 価	構 成 比	地 区 単 価	明 細 情 報	摘 要
バックホウ(クローラ) [標準]			【賃料】		L001010007
山積0.8m3 (平積0.6m3)	L001010007				
普通作業員					R0102
	R0102				
特殊作業員					R0101
	R0101				
運転手(特殊)					R0114
	R0114				
土木一般世話役					R0125
	R0125				
再生クラッシャーラン					Z002122003
RC-40	Z002122003				
軽油					Z006702002
	Z006702002				
標準単価		積算単価			
	1 m2	当り		円/m2	
条 件 名 称 入 力 値 条 件 値					
J01 碎石の厚さ	2		7.5cmを超え12.5cm以下		
J02 碎石の種類	8		再生クラッシャーラン 40～0		
J03 費用の内訳	1		全ての費用		

第0005号 単価表 機労材構成比情報
CD240010 コンクリート

1 m3 当り
適用年版 T0711

名 称 / 規 格	東 京 単 価	構成比	地 区 単 価	明細情報	摘 要																														
普通作業員					R0102																														
	R0102																																		
特殊作業員					R0101																														
	R0101																																		
土木一般世話役					R0125																														
	R0125																																		
生コンクリート(高炉)					Z120300200																														
1 8－8－2 5（2 0）W/C指定無し	Z002012005																																		
標準単価		積算単価																																	
		1 m3 当り			円／m3																														
<table><tr><td>条 件 名 称</td><td>入 力 値</td><td>条 件 値</td></tr><tr><td>J01 構造物種別</td><td>1</td><td>無筋・鉄筋構造物</td></tr><tr><td>J02 打設工法</td><td>4</td><td>人力打設</td></tr><tr><td>J03 コンクリート規格</td><td>6</td><td>高炉セメント B18-8 W/C指定無し</td></tr><tr><td>J05 養生工の種類</td><td>2</td><td>一般養生</td></tr><tr><td>J07 現場内小運搬の有無</td><td>2</td><td>無し</td></tr><tr><td>J13 費用の内訳</td><td>1</td><td>全ての費用</td></tr><tr><td>J14 生コンクリート割増の有無</td><td>2</td><td>有り</td></tr><tr><td>J15 生コン小型車割増額(実数入力)</td><td>3,000</td><td>3000 円/m3</td></tr><tr><td>J16 生コンその他割増額(実数入力)</td><td>1,000</td><td>1000 円/m3</td></tr></table>						条 件 名 称	入 力 値	条 件 値	J01 構造物種別	1	無筋・鉄筋構造物	J02 打設工法	4	人力打設	J03 コンクリート規格	6	高炉セメント B18-8 W/C指定無し	J05 養生工の種類	2	一般養生	J07 現場内小運搬の有無	2	無し	J13 費用の内訳	1	全ての費用	J14 生コンクリート割増の有無	2	有り	J15 生コン小型車割増額(実数入力)	3,000	3000 円/m3	J16 生コンその他割増額(実数入力)	1,000	1000 円/m3
条 件 名 称	入 力 値	条 件 値																																	
J01 構造物種別	1	無筋・鉄筋構造物																																	
J02 打設工法	4	人力打設																																	
J03 コンクリート規格	6	高炉セメント B18-8 W/C指定無し																																	
J05 養生工の種類	2	一般養生																																	
J07 現場内小運搬の有無	2	無し																																	
J13 費用の内訳	1	全ての費用																																	
J14 生コンクリート割増の有無	2	有り																																	
J15 生コン小型車割増額(実数入力)	3,000	3000 円/m3																																	
J16 生コンその他割増額(実数入力)	1,000	1000 円/m3																																	

第0006号 単価表 機労材構成比情報
CB240210 型枠

1 m2 当り
適用年版 T0711

名 称 / 規 格		東 京 単 価	構成比	地 区 単 価	明細情報	摘 要
型わく工						R0133
	R0133					
普通作業員						R0102
	R0102					
土木一般世話役						R0125
	R0125					
標準単価			積算単価			
	1 m2	当り		円／m2		
条 件 名 称						
J01 型枠の種類		1		一般型枠		
J02 構造物の種類		2		小型構造物		

第0007号 単価表 機労材構成比情報
CD240010 コンクリート

1 m3 当り
適用年版 T0711

名 称 / 規 格	東 京 単 価	構 成 比	地 区 単 価	明 細 情 報	摘 要																														
普通作業員					R0102																														
	R0102																																		
土木一般世話役					R0125																														
	R0125																																		
特殊作業員					R0101																														
	R0101																																		
生コンクリート(高炉) 1 8－8－2 5（2 0）W/C指定無し					Z120300200																														
	Z002012005																																		
標準単価		積算単価																																	
		1 m3 当り			円／m3																														
<table><tr><td>条 件 名 称</td><td>入 力 値</td><td>条 件 値</td></tr><tr><td>J01 構造物種別</td><td>2</td><td>小型構造物</td></tr><tr><td>J02 打設工法</td><td>4</td><td>人力打設</td></tr><tr><td>J03 コンクリート規格</td><td>6</td><td>高炉セメント B18-8 W/C指定無し</td></tr><tr><td>J05 養生工の種類</td><td>2</td><td>一般養生</td></tr><tr><td>J07 現場内小運搬の有無</td><td>2</td><td>無し</td></tr><tr><td>J13 費用の内訳</td><td>1</td><td>全ての費用</td></tr><tr><td>J14 生コンクリート割増の有無</td><td>2</td><td>有り</td></tr><tr><td>J15 生コン小型車割増額(実数入力)</td><td>3,000</td><td>3000 円/m3</td></tr><tr><td>J16 生コンその他割増額(実数入力)</td><td>1,000</td><td>1000 円/m3</td></tr></table>						条 件 名 称	入 力 値	条 件 値	J01 構造物種別	2	小型構造物	J02 打設工法	4	人力打設	J03 コンクリート規格	6	高炉セメント B18-8 W/C指定無し	J05 養生工の種類	2	一般養生	J07 現場内小運搬の有無	2	無し	J13 費用の内訳	1	全ての費用	J14 生コンクリート割増の有無	2	有り	J15 生コン小型車割増額(実数入力)	3,000	3000 円/m3	J16 生コンその他割増額(実数入力)	1,000	1000 円/m3
条 件 名 称	入 力 値	条 件 値																																	
J01 構造物種別	2	小型構造物																																	
J02 打設工法	4	人力打設																																	
J03 コンクリート規格	6	高炉セメント B18-8 W/C指定無し																																	
J05 養生工の種類	2	一般養生																																	
J07 現場内小運搬の有無	2	無し																																	
J13 費用の内訳	1	全ての費用																																	
J14 生コンクリート割増の有無	2	有り																																	
J15 生コン小型車割増額(実数入力)	3,000	3000 円/m3																																	
J16 生コンその他割増額(実数入力)	1,000	1000 円/m3																																	

第0008号 単価表
SJ0010 複合遊具設置工

1 基 当り
適用年版 T0711
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(TJ0020) 複合遊具 運賃込み		基			
	1				
(TJ0030) 複合遊具組立・据付費		式			
	1				
合 計					
		基			整数止め切捨て 円／基
	1				

第0009号 単価表
SJ0020 パーゴラ設置工

1 基 当り
適用年版 T0711
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(TJ0040) パーゴラ 3300×3300、運賃込み		基			
	1				
(TJ0050) パーゴラ組立・据付費		式			
	1				
合 計					
		基			整数止め切捨て 円／基
	1				

第0010号 単価表
WB610420 ベンチ据付

10 基 当り
適用年版 T0711

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0101) 特殊作業員		人			[1]
(R0102) 普通作業員		人			[1]
(Y001520000) -00003 ベンチ 背なし W=1800		基			[1]
	10				
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ [1]		式			
	1				
合 計					
		基			円／基
	1				
条 件 名 称					
J01 ベンチの種類		入 力 値		条 件 値	
		2		背無しベンチ	
J02 ベンチの質量		4		40kg以上50kg未満	

第0011号 単価表
SJ0030 立入防止柵設置工

20 m 当り
適用年版 T0711
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(TJ0060) 立入防止柵 三段柵、φ120、H1100	20	m			
(R0102) 普通作業員	1.92	人			
(ZS3H10010) 諸雑費(まるめ)	1	式			
合 計					
	1	m			整数止め切捨て 円／m

第0012号 単価表
 SJ0040 張芝工
 野芝

100 m2 当り
 適用年版 T0711
 (上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(WB610050) 公園植栽 張芝工		m2			第0013号単価表
	100				
(CB410010) 不陸整正		m2			第0014号単価表
	100				
(ZS3H10010) 諸雑費(まるめ)		式			
	1				
合 計					
		m2			整数止め切捨て 円／m2
	1				

第0013号 単価表
WB610050 公園植栽 張芝工

100 m2 当り
適用年版 T0711

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0125) 土木一般世話役		人			[1, 2]
(R0104) 造園工		人			[1, 2]
(R0102) 普通作業員		人			[1, 2]
(Z003002001) 野芝 半土付き		m2			[1]
	100				
(Y001618000) -00001 目土 黒土（良質土）		m3			[1]
	2.7				
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ [1]		式			
	1				
合 計					
		m2			円／m2
	1				
条 件 名 称 入 力 値 条 件 値					
J01 芝種類		1	野芝		
J02 芝張区分		1	べタ張		
J03 芝使用量			m2/100m2		
J04 芝串の有無		2	無		
J05 植栽割増の有無		2	無		

第0014号 単価表 機労材構成比情報
CB410010 不陸整正

1 m2 当り
適用年版 T0711

名 称 / 規 格	東 京 単 価	構 成 比	地 区 単 価	明 細 情 報	摘 要
モータクレータ〔土工用〕			【損料】		M000701021
排出ガス対策(2014年規制)プレート幅3.1m	M000701021				
ロートローラ〔マカダム〕			【賃料】		L001050002
運転質量10～12t	L001050002				
タイヤローラ〔普通型〕			【賃料】		L001060004
運転質量13～14t	L001060004				
運転手(特殊)					R0114
	R0114				
普通作業員					R0102
	R0102				
特殊作業員					R0101
	R0101				
土木一般世話役					R0125
	R0125				
床土					Y001100001 -00004
黒土(良質土)	Z002122003				
軽油					Z006702002
	Z006702002				
標準単価		積算単価			
		1 m2 当り			
				円／m2	
条 件 名 称 入 力 値 条 件 値					
J01 補足材料の有無		2	有り		
J02 補足材料平均厚さ		6	28mm以上34mm未満		
J03 補足材料		13	補足材料(各種)		
J04 費用の内訳		1	全ての費用		

登 録 単 価 一 覧 表

単価コード	名 称	単 位	適用年版	単 価	資源区分	管理費区分	摘 要
TJ0010	建設発生土処分料 確認処分、土質試験なし	m3	T0711	11,000	仮設材単価等	処分費対象	見積り
TJ0020	複合遊具 運賃込み	基	T0711	4,580,000	資材単価	全間接費対象	見積り
TJ0030	複合遊具組立・据付費	式	T0711	420,000	その他施工単価等	全間接費対象	見積り
TJ0040	パーゴラ 3300×3300、運賃込み	基	T0711	1,936,000	資材単価	全間接費対象	見積り
TJ0050	パーゴラ組立・据付費	式	T0711	280,000	その他施工単価等	全間接費対象	見積り
TJ0060	立入防止柵 三段柵、φ120、H1100	m	T0711	22,650	資材単価	全間接費対象	物価資料・積算資料 10月号
Y001100001 -00004	床土 黒土（良質土）	m3	T0711	5,000	資材単価	全間接費対象	県単R7.11
Y001520000 -00003	ベンチ 背なし W=1800	基	T0711	81,400	資材単価	全間接費対象	物価資料 10月号
Y001618000 -00001	目土 黒土（良質土）	m3	T0711	5,000	資材単価	全間接費対象	県単R7.11

総 量 集 計 表 (参考) [資材単価]

[illegible]

施工パッケージ単価分
総 量 集 計 表 (参考) [労務費]

[illegible]

施工パッケージ単価分
総 量 集 計 表 (参考) [資材単価]

總 量 集 計 表 (参考) [機械器具損料]

三浦市

施 工 パ ッ ケ ー ジ 材 料 集 計 表

単価コード	単価名称	標準単価	材料率(%)	数量	材料分金額	条件情報
CB210030	床掘り			88		J01=土砂 / J02=上記以外(小規模) / J05=全ての費用
CB210410	埋戻し			40		J01=上記以外(小規模) / J02=土砂 / J04=全ての費用
CB210110	土砂等運搬			43		J01=小規模 / J02=バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3) / J03=土砂(岩塊・玉石混り土含む) / J04=有り / J16=4.5km以下
CB221110	基礎砕石			25		J01=7.5cmを超え12.5cm以下 / J02=再生クッション40～0 / J03=全ての費用
CD240010	コンクリート			0.5		J01=無筋・鉄筋構造物 / J02=人力打設 / J03=高炉セメント B18-8 W/C指定無し / J05=一般養生 / J07=無し / J13=全ての費用 / J14=有り / J15=3000 円/m3 / J16=1000 円/m3
CD240010	コンクリート			5		J01=小型構造物 / J02=人力打設 / J03=高炉セメント B18-8 W/C指定無し / J05=一般養生 / J07=無し / J13=全ての費用 / J14=有り / J15=3000 円/m3 / J16=1000 円/m3
CB410010	不陸整正			775		J01=有り / J02=28mm以上34mm未満 / J03=補足材料(各種) / J04=全ての費用
合計						

数量総括表

工種	規格・寸法	単位	数量	備考
土工				
1.床掘り	土砂、小規模	m3	88	別添数量計算書(1/2)参照
2.埋戻し	小規模、土砂(発生土)	m3	40	別添数量計算書(1/2)参照
3.土砂等運搬	発生土 2tDt、L=4.5km以下、DID有	m3	43	別添数量計算書(1/2)参照
4.建設発生土処分料	確認処分、土質試験なし	m3	43	別添数量計算書(1/2)参照
基礎工				
1.基礎砕石	RC-40、t=100	m2	25	別添数量計算書(1/2)参照
2.均しコンクリート	18-8-20BB、t=50 無筋	m3	0.5	別添数量計算書(1/2)参照
3.型枠工	基礎コンクリート 小型構造物	m2	59	別添数量計算書(1/2)参照
4.基礎コンクリート	18-8-20BB 小型	m3	5	別添数量計算書(1/2)参照
公園施設整備工				
1.複合遊具設置工		基	1	別添数量計算書(2/2)参照
2.パーゴラ設置工	3300×3300	基	1	別添数量計算書(2/2)参照
3.ベンチ設置工	W=1800	基	7	別添数量計算書(2/2)参照
4.立入防止柵設置工	H=1100	m	115	別添数量計算書(2/2)参照
付帯工				
1.張芝工	野芝、ベタ張り、芝串なし	m2	775	別添数量計算書(2/2)参照

数量計算書(1/2)						
種 別		略 図 計 算 式			数 量	
土工						
1.床掘り		土量計算表より				
土砂、小規模		88.03		=	88.03	m3
				合計	=	88.0 m3
2.埋戻し		土量計算表より				
小規模、土砂(発生土)		40.51		=	40.51	m3
				合計	=	40.5 m3
3.土砂等運搬		1.床掘りより 2.埋戻しより				
発生土		88.03	-	40.51	/	0.90
				=	43.01	m3
2tDt、L=4.5km以下、DID有				合計	=	43.0 m3
4.建設発生土処分料		3.土砂等運搬より				
確認処分、土質試験なし		43.01		=	43.01	m3
				合計	=	43.0 m3
基礎工						
1.基礎砕石		材料計算表より				
RC-40、t=100		25.33		=	25.33	m2
				合計	=	25.3 m2
2.均しコンクリート		材料計算表より				
18-8-20BB、t=50		0.53		=	0.53	m3
無筋				合計	=	0.5 m3
3.型枠工		材料計算表より				
基礎コンクリート		59.40		=	59.40	m2
小型構造物				合計	=	59.4 m2
4.基礎コンクリート		材料計算表より				
18-8-20BB		5.62		=	5.62	m3
小型				合計	=	5.6 m3

数量計算書(2/2)				
種 別	略 図 計 算 式			数 量
公園施設整備工				
1.複合遊具設置工	平面図より			
	1.00		=	1.00 基
			合計	= 1.0 基
2.パーゴラ設置工 3300×3300	平面図より			
	1.00		=	1.00 基
			合計	= 1.0 基
3.ベンチ設置工 W=1800	平面図より			
	7.00		=	7.00 基
			合計	= 7.0 基
4.立入防止柵設置工 H=1100	平面図より			
	115.00		=	115.00 m
			合計	= 115.0 m
付帯工				
1.張芝工 野芝、ベタ張り、芝串なし	平面図より			
	665.00 + 110.00		=	775.00 m2
			合計	= 775.0 m2

●土工数量集計表

工種	細別	単位数量	単位	単 位 数 量		数 量	単位	設 計 数 量	
				床掘り	埋戻し			床掘り	埋戻し
複合遊具	A型基礎	10	基	6.59	5.05	13.0	基	8.567	6.565
	B型基礎	10	基	5.38	4.36	6.0	基	3.228	2.616
	C型基礎	10	基	4.38	3.52	2.0	基	0.876	0.704
	D型基礎	10	基	3.48	2.97	4.0	基	1.392	1.188
	E型基礎	10	基	4.88	3.56	1.0	基	0.488	0.356
	F型基礎	10	基	5.58	4.32	2.0	基	1.116	0.864
	G型基礎	10	基	4.77	1.72	2.0	基	0.954	0.344
パーゴラ	基礎	1	基	4.33	3.17	1.0	基	4.330	3.170
ベンチ	基礎	1	基	0.58	0.49	7.0	基	4.060	3.430
立入防止柵	H=1100	10	m	2.11	1.85	115.0	m	24.265	21.275
張芝工	野芝	100	m2	5.00	－	775.0	m2	38.750	－
								88.026	40.512

●材料数量集計表

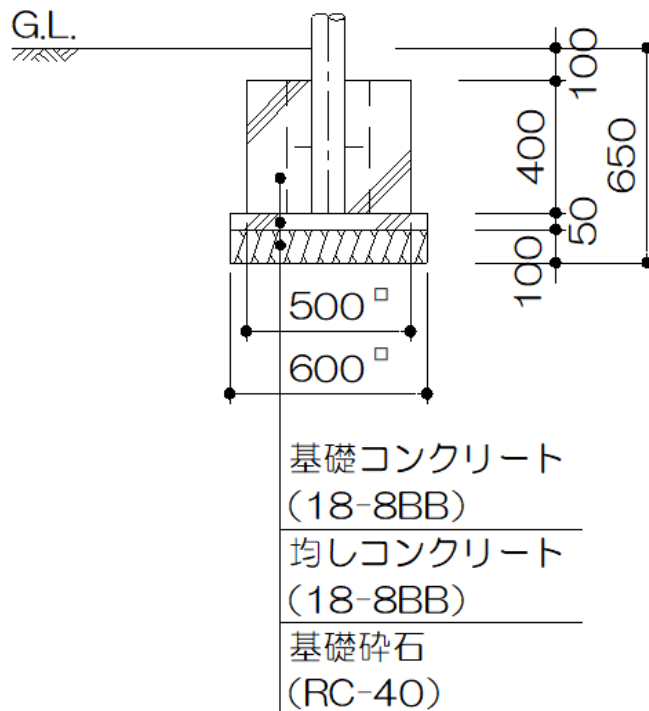
工種	細別	単位数量	単位	単 位 数 量				数 量	単位	設 計 数 量			
				基礎砕石	均しコンクリート	型枠	基礎コンクリート			基礎砕石	均しコンクリート	型枠	基礎コンクリート
				m2	m3	m2	m3			m2	m3	m2	m3
複合遊具	A型基礎	10	基	3.60	0.18	8.00	1.00	13.0	基	4.680	0.234	10.400	1.300
	B型基礎	10	基	2.50	0.13	6.40	0.64	6.0	基	1.500	0.078	3.840	0.384
	C型基礎	10	基	2.50	0.13	4.80	0.48	2.0	基	0.500	0.026	0.960	0.096
	D型基礎	10	基	1.60	0.08	3.60	0.27	4.0	基	0.640	0.032	1.440	0.108
	E型基礎	10	基	4.50	0.23	4.80	0.64	1.0	基	0.450	0.023	0.480	0.064
	F型基礎	10	基	3.60	0.18	6.60	0.72	2.0	基	0.720	0.036	1.320	0.144
	G型基礎	10	基	14.40	－	4.40	1.21	2.0	基	2.880	－	0.880	0.242
パーゴラ	基礎	1	基	1.96	0.10	5.76	0.86	1.0	基	1.960	0.100	5.760	0.860
ベンチ	基礎	1	基	0.40	－	0.96	0.05	7.0	基	2.800	－	6.720	0.350
立入防止柵	H=1100	10	m	0.80	－	2.40	0.18	115.0	m	9.200	－	27.600	2.070
										25.330	0.529	59.400	5.618

材料計算書

名 称：複合遊具 A型基礎

10基 当り

算式根拠となる構造図

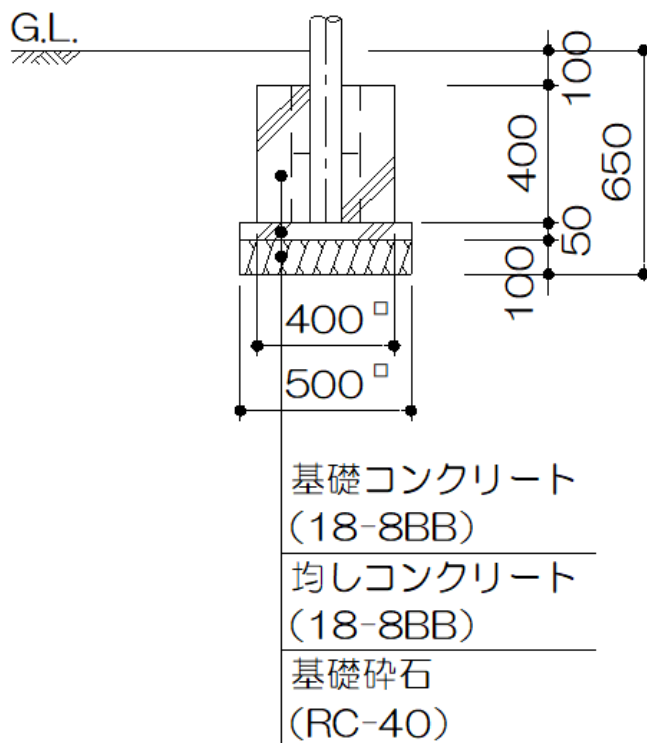
[illegible]

材料計算書

名 称：複合遊具 B型基礎

10基 当り

算式根拠となる構造図

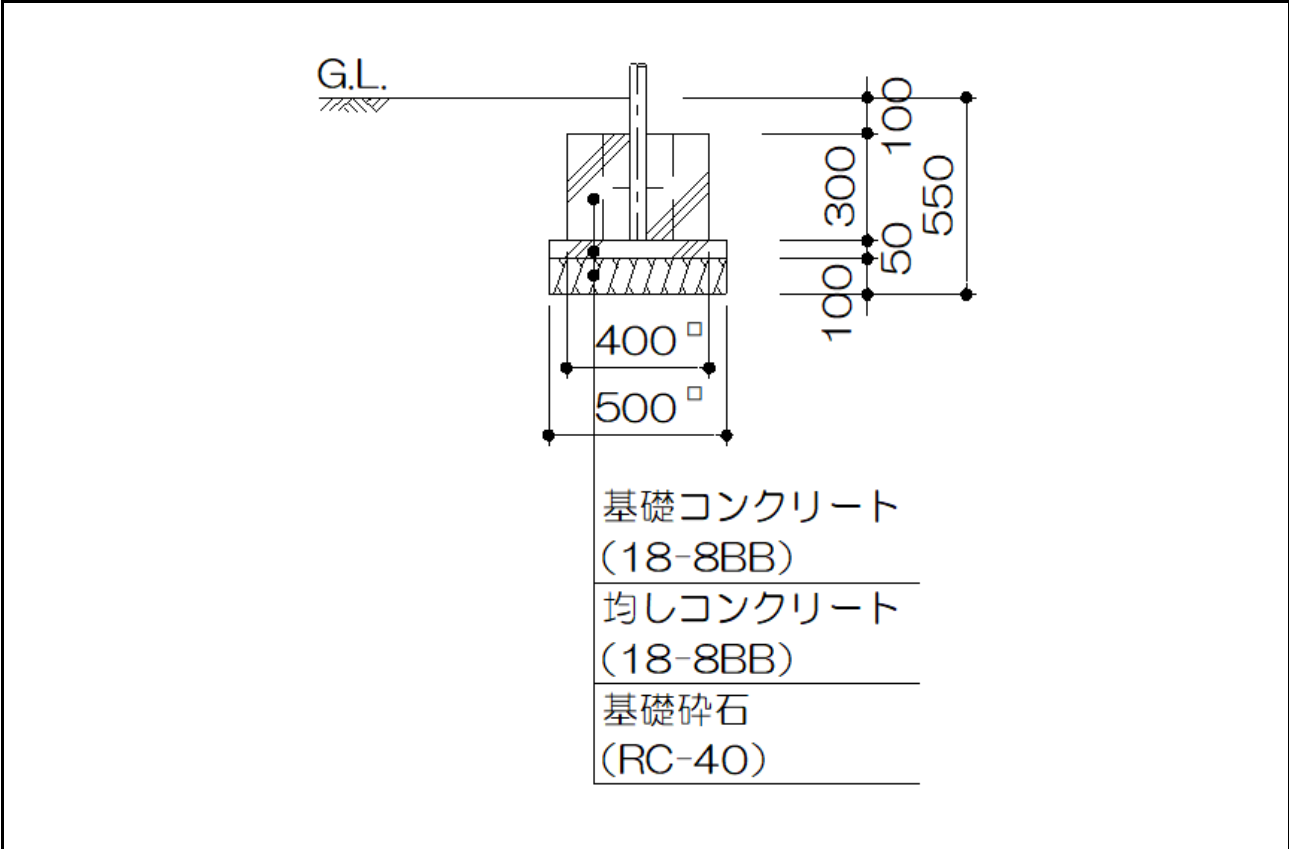
[illegible]

材 料 計 算 書

名 称：	複合遊具 C型基礎	10基 当り
------	-----------	--------

名 称：	複合遊具 C型基礎	10基 当り
------	-----------	--------

算式根拠となる構図

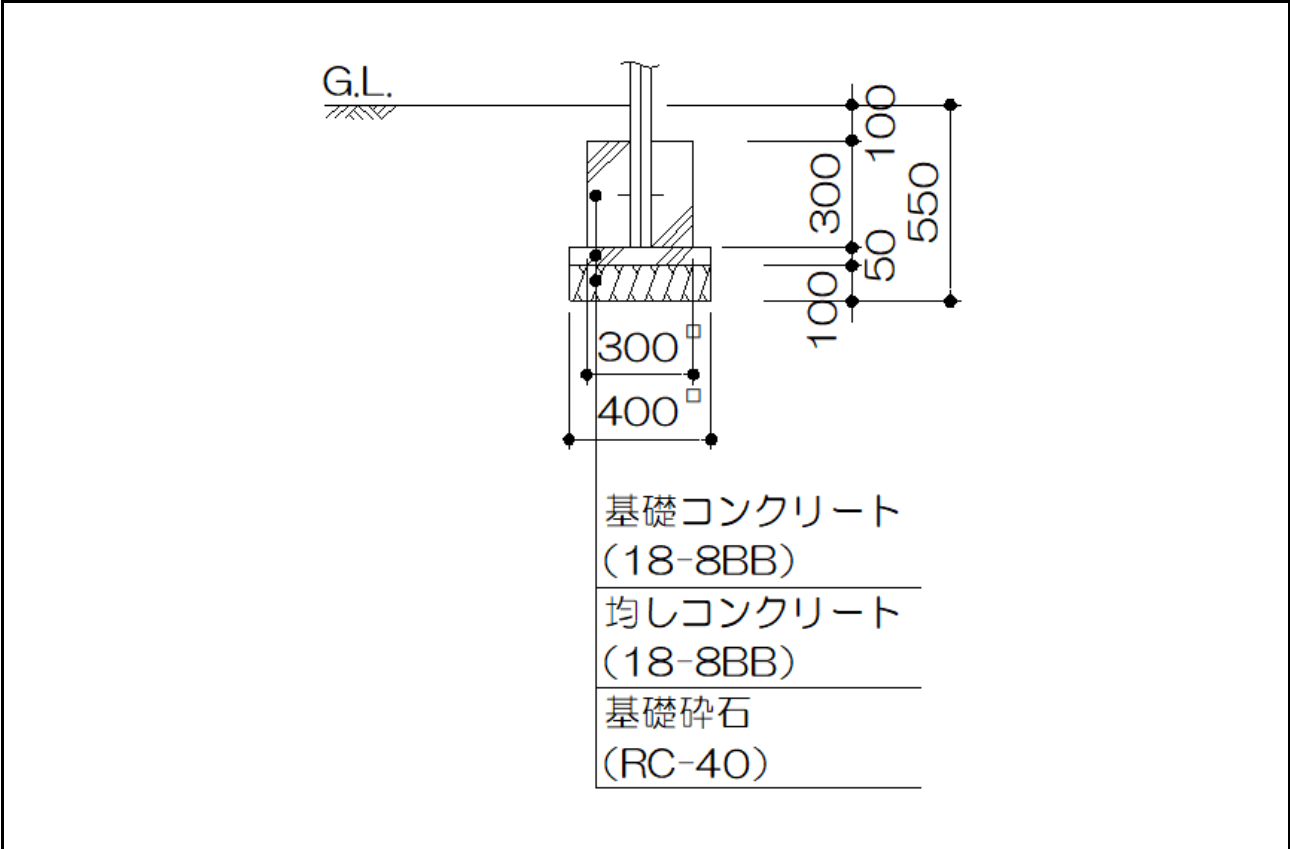
[illegible]

材 料 計 算 書

名 称：	複合遊具 D型基礎	10基 当り
------	-----------	--------

名 称：	複合遊具 D型基礎	10基 当り
------	-----------	--------

算式根拠となる構 造 図



基礎碎石
(RC-40)

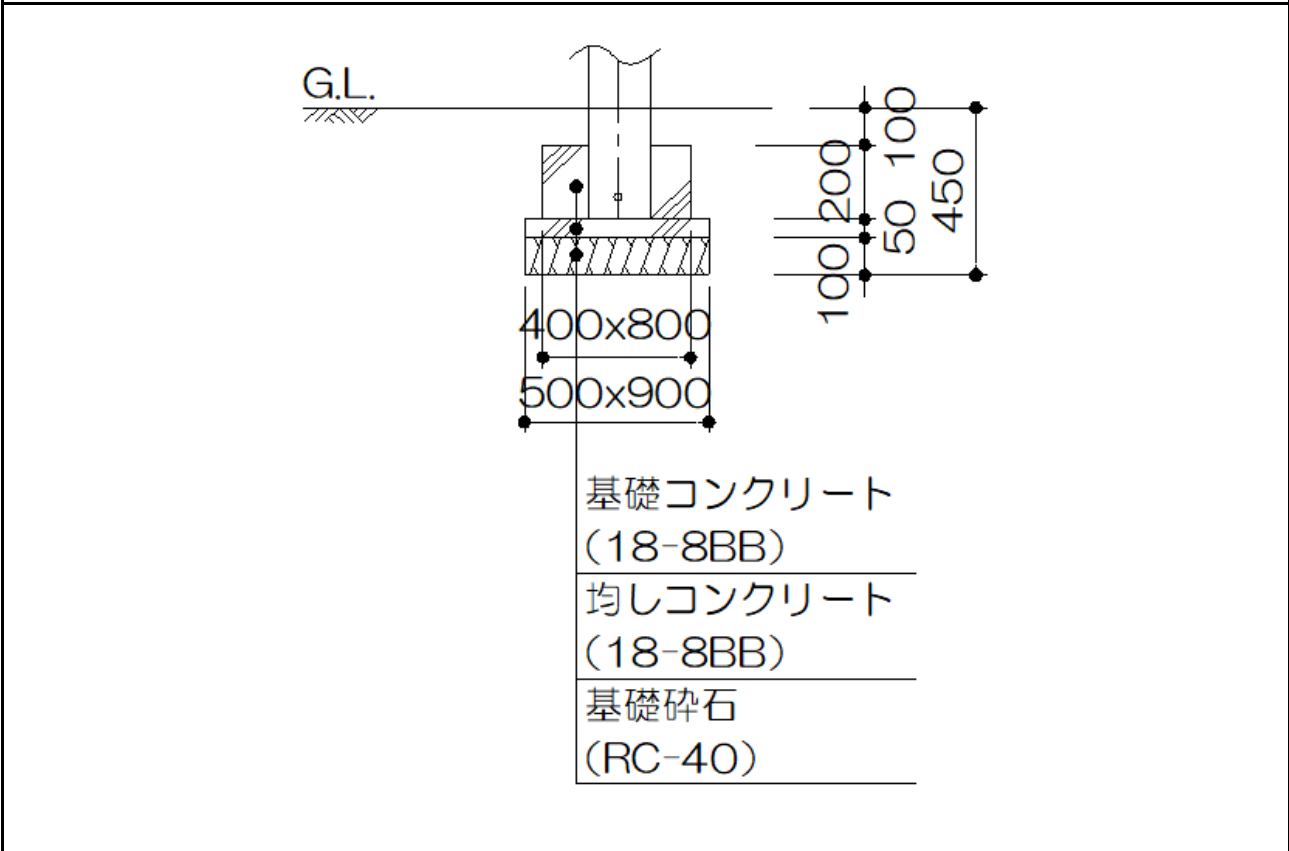
[illegible]

材 料 計 算 書

名 称：	複合遊具 E型基礎	10基 当り
------	-----------	--------

名 称：	複合遊具 E型基礎	10基 当り
------	-----------	--------

算式根拠となる構 造 図

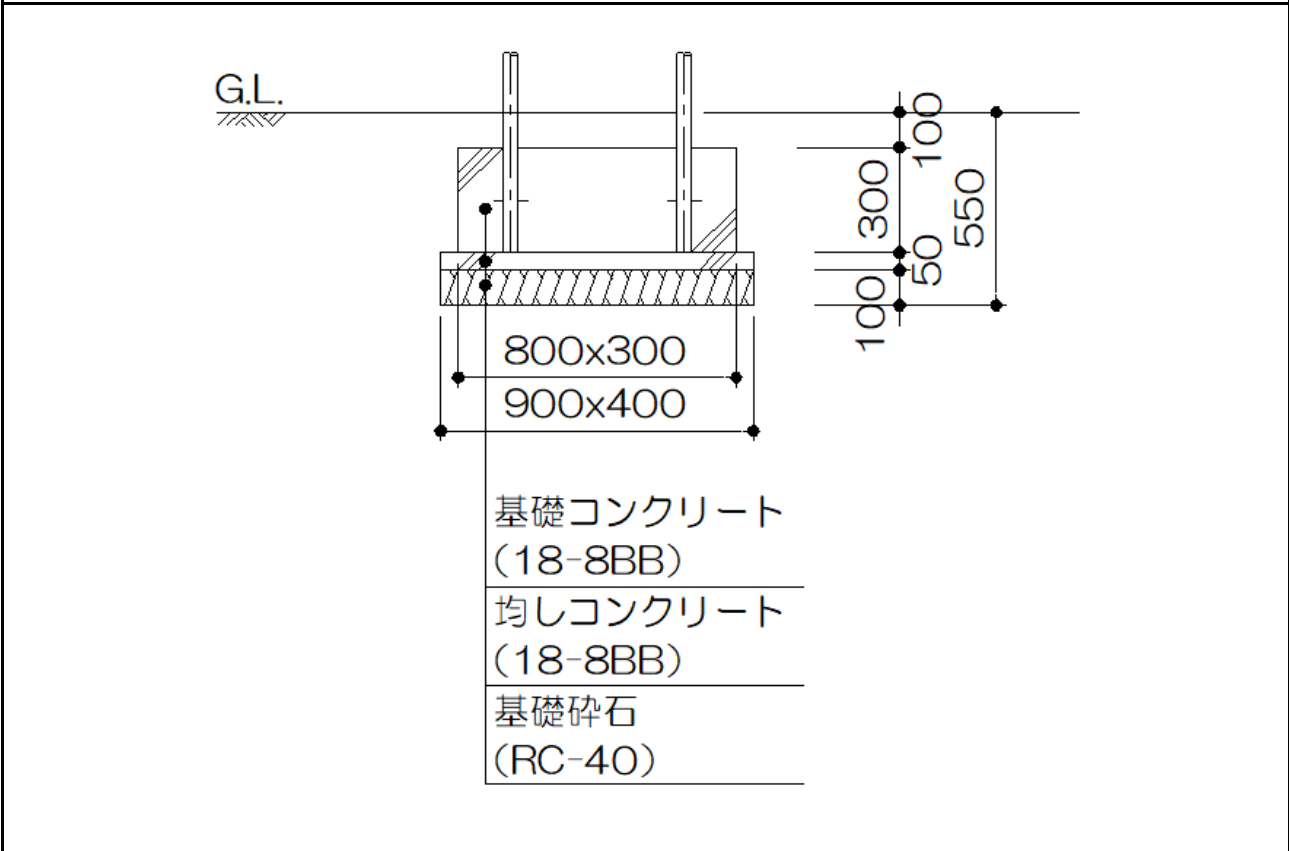
[illegible]

材 料 計 算 書

名 称：	複合遊具 F型基礎	10基 当り
------	-----------	--------

名 称：	複合遊具 F型基礎	10基 当り
------	-----------	--------

算式根拠となる構 造 図

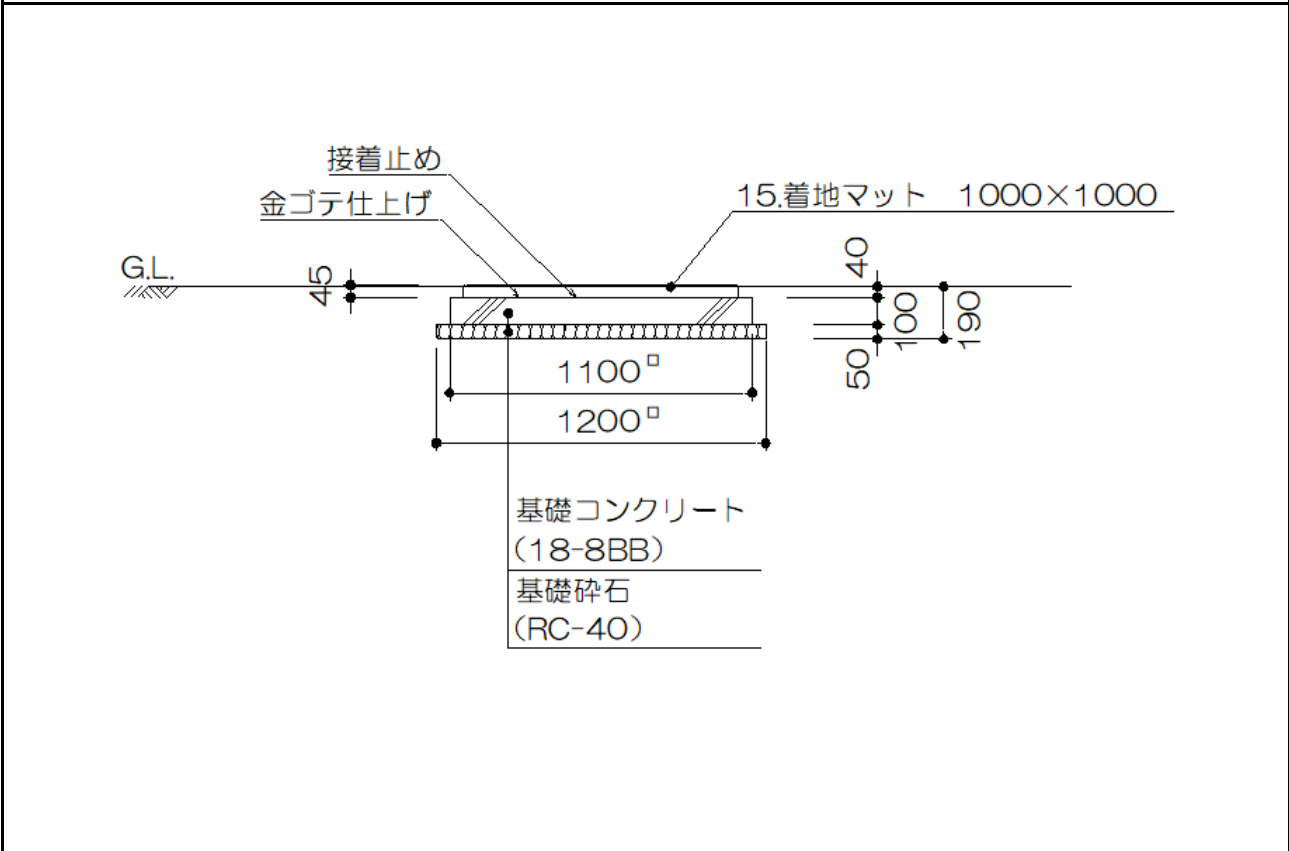
[illegible]

材 料 計 算 書

名 称：	複合遊具 G型基礎	10基 当り
------	-----------	--------

名 称：	複合遊具 G型基礎	10基 当り
------	-----------	--------

算式根拠となる構 造 図

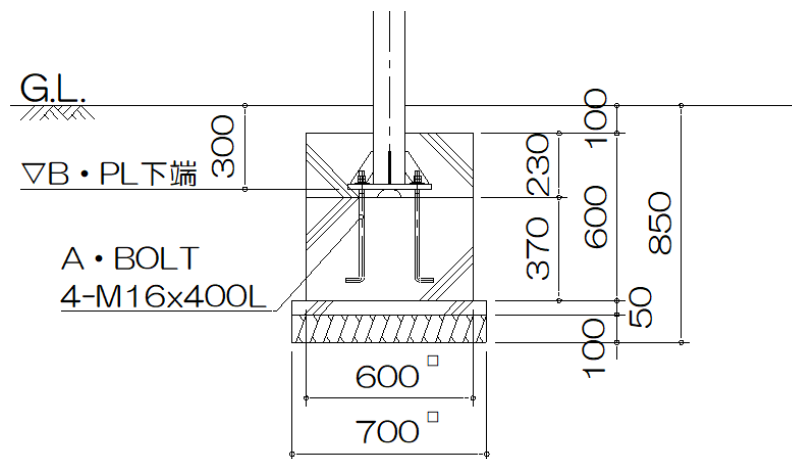
[illegible]

材 料 計 算 書

名 称 : パーゴラ

1基 当り

算 式 根 拠 と な る 構 造 図



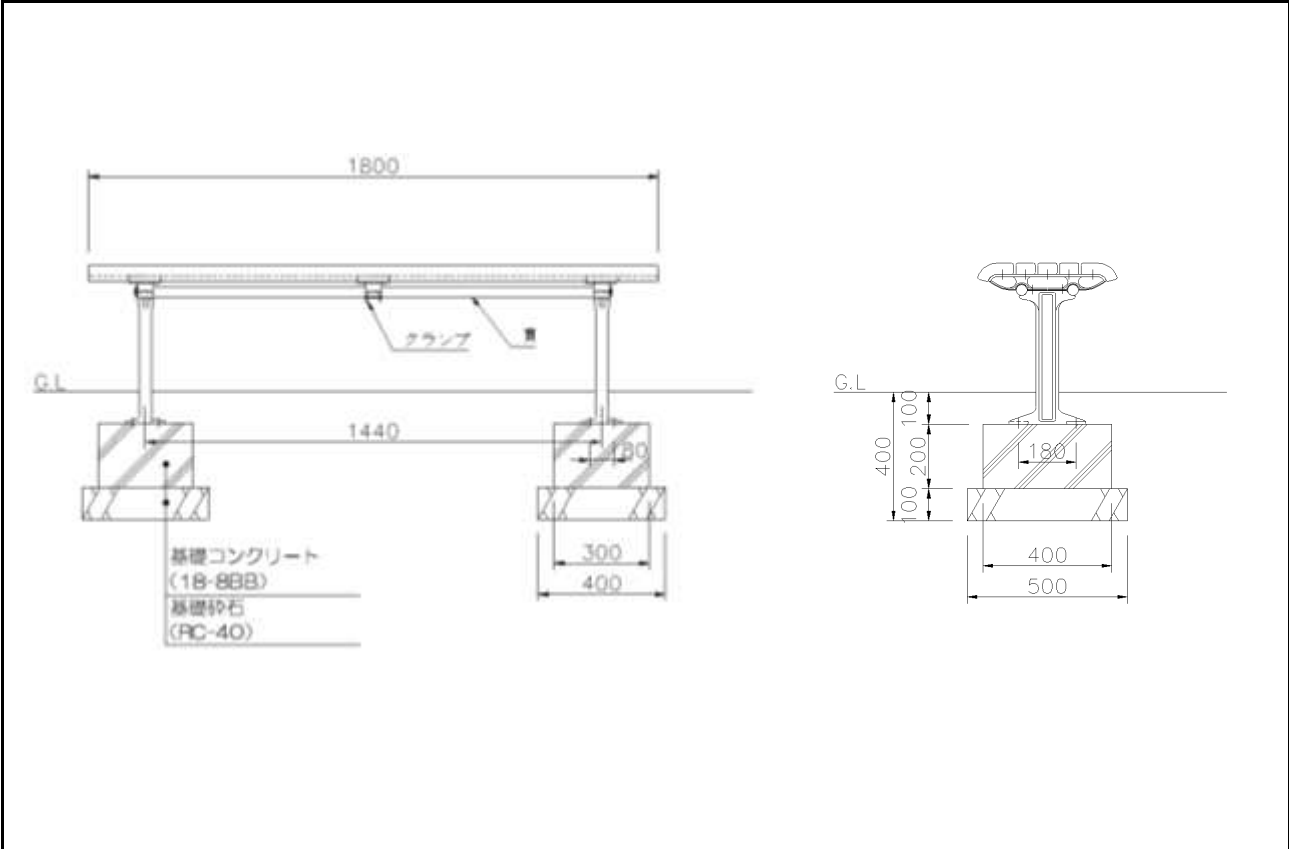
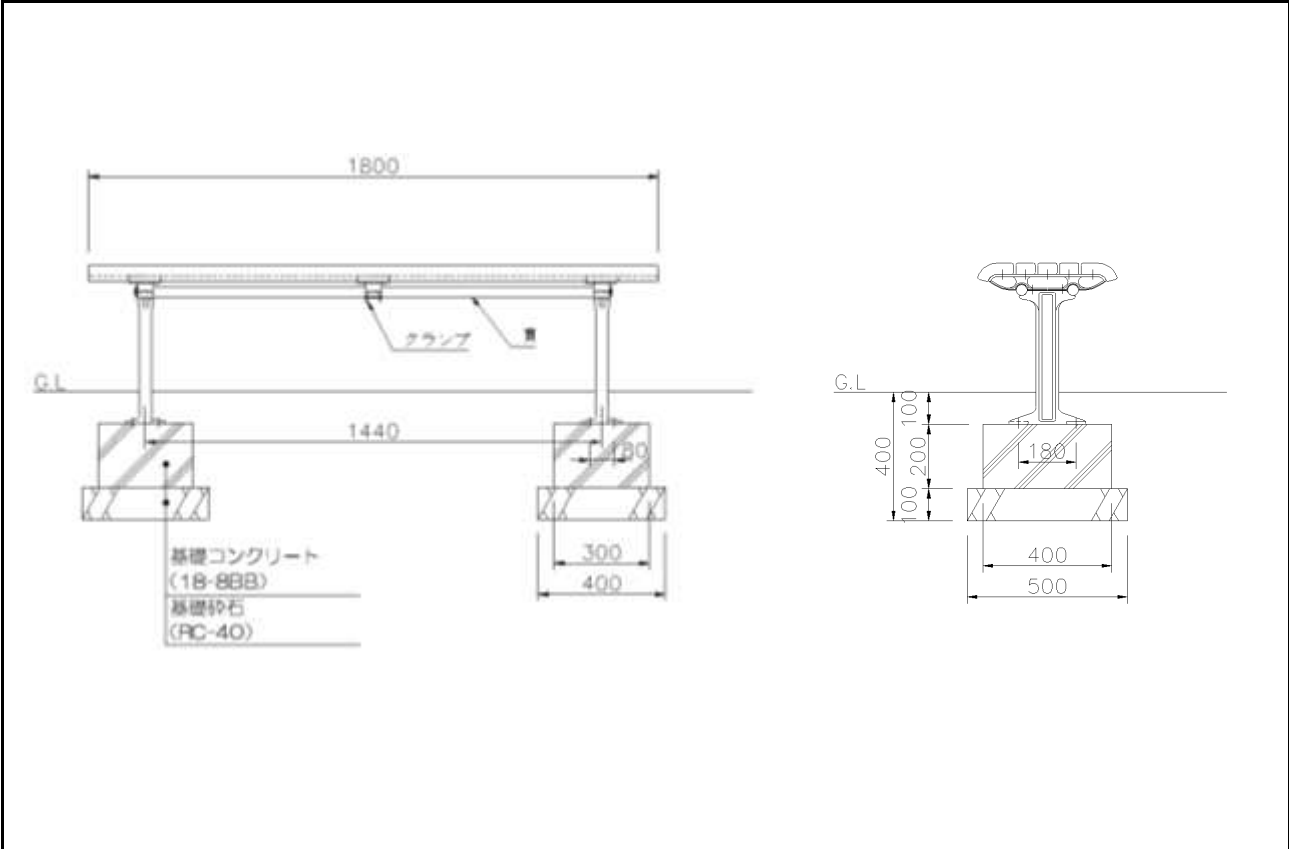
細別	規格	算式	単位	数量
基礎碎石	RC-40 t=100	$0.7 \times 0.7 \times 4 = 1.960$	m2	1.96
均しコンクリート	18-8BB	$(0.7 \times 0.7 \times 0.05) \times 4 = 0.098$	m3	0.10
型枠		$0.6 \times 0.6 \times 4 \times 4 = 5.760$	m2	5.76
基礎コンクリート	18-8BB	$(0.6 \times 0.6 \times 0.6) \times 4 = 0.864$	m3	0.86
パーゴラ		$= 1.000$	基	1.00
床掘		$(0.7 \times 0.7 \times 0.15 + 1.20 \times 1.20 \times 0.7) \times 4 = 4.326$	m3	4.33
埋戻		$4.33 - (1.96 \times 0.1 + 0.10 + 0.86) = 3.174$	m3	3.17

材 料 計 算 書

名 称 :	ベンチ	1基 当り
-------	-----	-------

名 称：	ベンチ	1基 当り
------	-----	-------

算式根拠となる構図

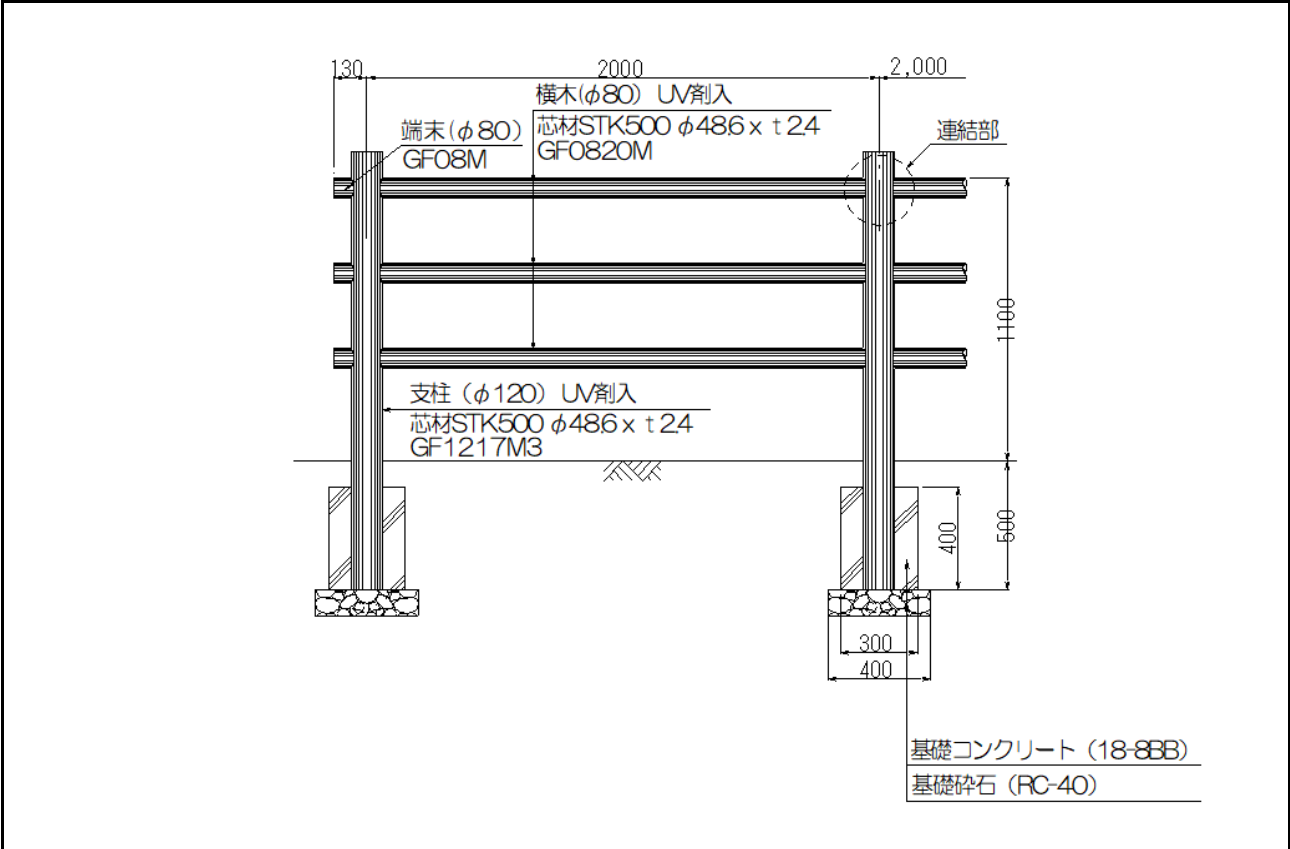
[illegible]

材 料 計 算 書

名 称：	立入防止柵	10m 当り
------	-------	--------

名 称：	立入防止柵	10m 当り
------	-------	--------

算式根拠となる構図

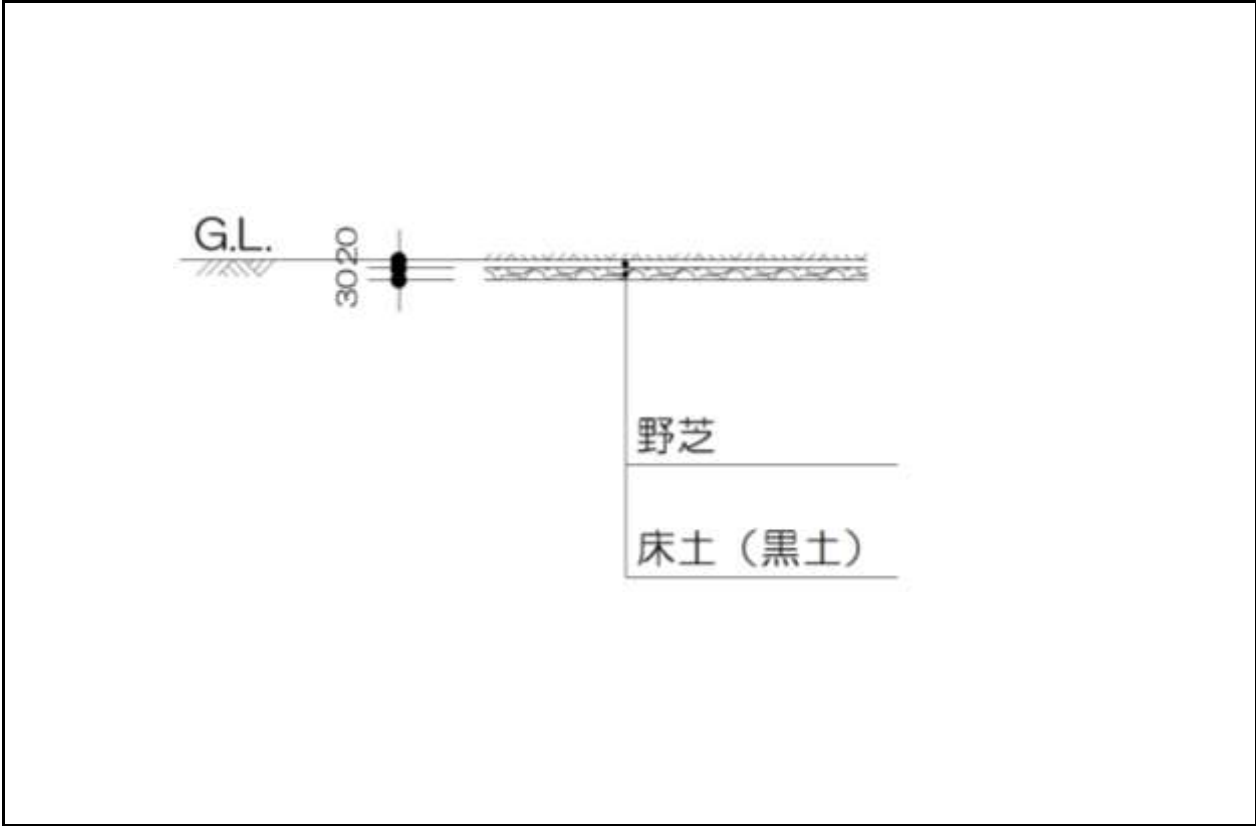
[illegible]

材料計算書

名 称 : 張芝工	100m2 当り
-----------	----------

100m² 当り

算式根拠となる構 造 図

[illegible]

【本工事における特記仕様書の一覧表】

	特記仕様書の名称	備考
1	特記仕様書	
2	建設廃棄物の取扱い及び建設副産物の適正処理・再資源化に係る特記仕様書	
3	建設副産物実態調査に係る特記仕様書	
4	公共建設発生土処分に係る確認処分特記仕様書	
5	週休2日制確保工事に関する特記仕様書(土木工事)	

特 記 仕 様 書

本仕様書は、令和7年度 宮川公園整備工事に適用するものとする。

1. 請負者は、速やかに施工計画書を作成し、監督員に提出すること。
2. 本工事において、この特記仕様書によらないものについては「土木工事共通仕様書」、「土木工事施工管理基準」を遵守すること。
なお、土木工事共通仕様書は令和6年11月、土木工事施工管理基準は令和4年4月に改正となったため注意すること。
3. 本工事において、請負者は設計計画図を基にした丁張を掛け監督員の確認を受けるものとする。
なお、工事中に変更を指示された場合、その都度、実施計画図を作成し監督員の承諾を得るものとする。
4. 請負者が実施する測量、設計等に要する費用は準備費、技術管理費及び現場管理費に含まれているので別途計上はしない。
5. 請負者は、周辺住民に与える建設公害等を極力軽減するように配慮した上で資機材、建設発生土等の運搬経路、資材の仮置場、工事区域を区分する保安施設等の設置箇所、工事期間、施工方法等について十分に検討を行い、周辺住民に周知を図るものとする。
6. 請負者は、本工事施工にあたり公道、公共用地及び民有地等を利用して工事を行う場合は各所有者及び管理者の承諾を得なければならない。
また、上記の用地を利用した場合、原則として工事完了後に請負者の責任を持って現況に復旧すること。
7. 建設廃材処理については、所定の様式に必要事項を漏れなく記載し提出すること。
8. 本工事で使用する資材等の単価については、下記の業者から見積りを徴収して採用している。

- ・複合遊具

タカオ（株） TEL：03-3862-5505

- ・パーゴラ

タカオ（株） TEL：03-3862-5505

(株) 風景セコロ TEL：03-5209-8231

(株) コトブキ TEL：045-277-5111

建設廃棄物の取扱い及び建設副産物の適正処理・再資源化に係る特記仕様書

本特記仕様書は、建設工事から発生する廃棄物についての取扱い及び建設副産物の適正処理・再資源化に関する事項を定めるものである。

I. 総則

1 用語の定義

本特記仕様書において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 建設工事 土木建築に関する工事をいう。
- (2) 建設副産物 建設工事に伴い副次的に得られた物品をいう。
- (3) 建設廃棄物 建設副産物のうち廃棄物処理法上の廃棄物に該当するものをいう。
- (4) 建設資材 土木建築に関する工事に使用する資材をいう。
- (5) 建設資材廃棄物 建設資材が廃棄物処理法上の廃棄物となったものをいう。
- (6) 建築物等 建築物その他の工作物をいう。
- (7) 再資源化
分別解体等に伴って生じた建設資材廃棄物の運搬又は処分(再生することを含む)に該当するもので次に掲げる行為をいう。
ア 資材又は原材料として利用することができる状態にすること。
イ 燃焼の用に供することができるもの又はその可能性のあるものについて、熱を得ることに利用することができる状態にすること。
- (8) 建設リサイクル資材
「県土整備局公共工事グリーン調達基準」の別表第7に定める認定対象品目の資材をいう。

II. 建設副産物適正処理・再資源化に関する事項

工事の施工等にあたっては、まず建設副産物の発生抑制に努め、発生したものについては再使用、再生利用を徹底し、そして熱回収が可能なものは熱回収を行うことを基本として取り組むこととし、このための施工方法及び建設資材の選択等については積極的に提案すること。

1 施工前に取り組む事項

建設副産物の発生抑制、再資源化等の中心的役割を担うものとして、建設業法、建設リサイクル法その他の法令を遵守するとともに、発注者との連絡調整、管理及び施工体制の整備等を行うこと。

《管理及び施工体制の整備》

- (1) 工事現場における建設副産物対策の責任者を明確にし、廃棄物処理計画の作成に努めること。
- (2) 廃棄物処理計画等の内容については、現場担当者の教育、協力業者に対する周知徹底と明確な指導を行うこと。

《下請契約》

- (3) 工事の一部を下請発注し、生じた建設廃棄物を処理委託する場合は個別に直接処理委託の契約をすること。
- (4) 建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用の適正な負担に努めること。

《再生品の利用》

- (5) 建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材については、利用用途に応じた品質等を考慮した上で、次の事例を参考とし、可能な限り利用すること。
ア 道路等の舗装の路盤材は、原則として、「コンクリート塊等の処理及び建設リサイクル資材に関する事務取扱要領」に基づく神奈川県県土整備局の指定するコンクリート塊等処理指定工場から再生砕石等を調達すること。
イ 道路舗装材には、「工事における環境配慮型公共工事の推進に関する特記仕様書」を参考に、再生加熱アスファルト混合物等の利用に努めること。
ウ その他、コンクリート型枠材としてのパーティクルボード(ストランドボード)等エンジニアードウッドの利用、法面の緑化材、雑草防止材等としての再生木質マルチング材等の利用を積極的に提案すること。

2 施工に関する事項

建設資材廃棄物の処理等の過程においては、廃棄物処理法、大気汚染防止法、労働安全衛生法、神奈川県生活環境の保全等に関する条例等関係法令の遵守を徹底するとともに、アスベスト、CCA処理木材、フロン類、非飛散性アスベスト、PCB等の取扱いには十分注意し、有害物質等の発生抑制及び周辺環境への影響の防止を図ること。

《発生抑制》

(1) 端材の発生が抑制される施工方法の採用及び建設資材の選択等について、次の事例を参考にして、積極的な提案を行うこと。

ア 使用済コンクリート型枠の再使用

イ コンクリート塊及びアスファルト・コンクリート塊の現場内破砕による路盤材等への再生利用

ウ 建設汚泥の現場内での脱水、固化等による盛土材等への再生利用

《再資源化等》

(2) コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材等、建設発生土は、再資源化施設等の搬入するとともに、再生資源の活用に努めること。

(3) コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊は、原則として神奈川県県土整備局が指定するコンクリート塊等処理指定工場へ搬入すること。

(4) 建設発生木材等は、原則として神奈川県県土整備局が指定する事業者の指定施設へ搬入すること。

(5) その他の建設廃棄物(特定建設資材廃棄物以外の廃棄物、対象建設工事でない工事による建設廃棄物)についても、可能な限り再資源化等に努めること。

《適正処理》

(6) 廃棄物を処理する場合には、元請業者は、排出事業者として自らの責任において、廃棄物処理法等関係法令に基づき、可能な限り現場で減量化した後に適正に処理すること。

(7) 廃棄物の処理を委託する場合には次の事項に留意すること。

ア 運搬と処分についてそれぞれの許可業者と各々委託契約すること。

イ 適正な委託契約を行わない状況で、受託者が不法投棄等を行った時には、委託基準違反として委託者にも責任が及ぶことになるため、適正な委託費用をもって適切な委託契約を行い、併せて契約内容を確実に履行するよう関係者を指導監督すること。

ウ 産業廃棄物の処理を委託する場合には、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を交付し、最終処分(再生を含む。)が完了したことを確認すること。

3 施工の完了後に行う事項

コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊については、「コンクリート塊等の処理及び建設リサイクル資材に関する事務取扱要領」に基づき、当該工事で発生したコンクリート塊等の指定工場への搬入を完了した時は、速やかにコンクリート塊等搬入完了報告書に指定工場の証明を受けて監督員に報告すること。

建設副産物実態調査に係る特記仕様書

本特記仕様書は、建設副産物実態調査に関する事項を定めるものである。

I. 用語の定義

本特記仕様書において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 建設工事 土木建築に関する工事をいう。
- (2) 建設副産物 建設工事に伴い副次的に得られた物品をいう。
- (3) 建設廃棄物 建設副産物のうち廃棄物処理法上の廃棄物に該当するものをいう。
- (4) 建設資材 土木建築に関する工事に使用する資材をいう。
- (5) 建設資材廃棄物 建設資材が廃棄物処理法上の廃棄物となったものをいう。
- (6) 建築物等 建築物その他の工作物をいう。
- (7) 再資源化
分別解体等に伴って生じた建設資材廃棄物の運搬又は処分(再生することを含む)に該当するもので次に掲げる行為をいう。
ア 資材又は原材料として利用することができる状態にすること。
イ 燃焼の用に供することができるもの又はその可能性のあるものについて、熱を得ることに利用することができる状態にすること。
- (8) 建設リサイクル資材
「県土整備局公共工事グリーン調達基準」の別表第7に定める認定対象品目の資材をいう。

II. 建設副産物実態調査に関する事項

現場から発生する建設副産物についての発生量および再生資源利用量の実態把握について定める。

1. 元請業者は、当該年度に終了した最終請負額が100万円以上の工事(小規模工事等又は調査対象となる建設資材の利用及び建設副産物の発生・搬出が無い工事は除く)は、次項の建設副産物実態調査作業手順にもとづき調査データを提出するものとする。ただし、複数年度にまたがる債務工事等の工事額は、当該年度の年割り額を記入し、工事内容は当該年度分の資材利用量、建設副産物発生量・搬出量のみを記入する。なお、この手順により作成されたデータおよび帳票は、「資源の有効な利用の促進に関する法律」で定められた「再生資源利用{促進}計画書(実施書)の作成」を兼ねるものとする。
本調査の対象品目は、表1の通りである。

表1 調査対象品目

対 象	調査対象品目	備考
搬 入 す る 建 設 資 材	コンクリート	生コンクリート、コンクリート二次製品(有筋、無筋)など
	木材	
	アスファルト・コンクリート	
	土砂	山砂、建設発生土、土質改良土、建設汚泥処理土、再生コンクリート砂(RC-10)など
	砕石	鉱さい、クラッシャーラン、ぐり石など
	塩化ビニル管・継手	
	石膏ボード	
	その他の建設資材	
搬 出 す る 建 設 副 産 物	コンクリート塊	
	建設発生木材A(柱、ボードなどの木製資材が廃棄物となったもの)	建設発生木材等のうち、解体木くず、新築端材木くず等が該当する。
	アスファルト・コンクリート塊	
	その他がれき類	
	建設発生木材B(立木、除根材などが廃棄物となったもの)	建設発生木材等のうち、建設工事(工作物の新築、改築又は除去に係るものに限る。)に伴って副次的に得られる伐木材、伐根材が該当する。
	建設汚泥	
	混合状態の廃棄物(建設混合廃棄物)	現場へ搬出する状態で判断し、発生と搬出の間に分別された場合には、分別後の品目が発生したものとみなす。
	金属くず	
	廃塩化ビニル管・継手	
	廃プラスチック(廃塩化ビニル管・継手を除く)	
	廃石膏ボード	
	紙くず	
	アスベスト(飛散性)	
	その他の分別された廃棄物	
	第一種～第四種建設発生土及び浚渫土(建設汚泥を除く)	

2. 建設副産物実態調査の作業手順は、次のとおりとし、元請業者が行うものとする。
- (1) 一般財団法人日本建設情報統合センターのホームページ【<https://fkplus.jacic.or.jp/>】から建設副産物情報交換システム(コブリス・プラス)にログインする。
システムの操作方法については、「トップページ」内の「コブリス・プラスでできること(動画)」、「コブリス・プラスの使い方」ページ内の「民間企業の方へ」「■工事の受注者の方へ」(1)及び、「■受注者向け(動画)」を参照する。
 - (2) 当初契約時点でのデータを入力する。データ入力の際、データチェック結果にて「確認が必要な事項」がある場合は、修正の要否を確認し、修正が完了したデータをコブリス・プラス上で監督員へ提出する。(監督員からコブリス・プラスで修正指示がある場合(提出状況欄が「問い合わせあり」の場合)は修正登録をする。)
 - (3) 「再生資源利用計画書、再生資源利用促進計画書のダウンロード」から、当該様式(計画)を印刷し、監督員に提出する。
 - (4) 工事完成時に実施書(最終データに修正)に書き換える。データチェック結果にて「確認が必要な事項」がある場合は、修正の要否を確認し、修正が完了したデータをコブリス・プラス上で監督員へ提出する。(監督員からコブリス・プラスで修正指示がある場合(提出状況欄が「問い合わせあり」の場合)は修正登録をする。)
 - (5) 「再生資源利用計画書、再生資源利用促進計画書のダウンロード」から、当該様式(実施)を印刷し、監督員に提出する。
 - (6) 工事検索画面から当該工事を検索し、「データ登録済み確認書」を印刷し、修正を要するエラーが出ていないことを確認の上、監督員に提出する。

3. データ入力上の留意点

(1) 建設発生土の入力値について

建設発生土については、埋戻しなどのように、現場内利用がある場合には、建設副産物発生・搬出(一種発生土～浚渫土)には、「地山m³」で入力し、建設資材利用(土砂)には、「締めm³」(表2、土量の変化率Cを考慮)で入力する。

表2 土量の変化率C

レキ質土		砂質土及び砂		粘性土		岩塊 玉石
レキ	レキ質土	砂	砂質土 (普通土)	粘性土	高含水比 粘性土	
0.95	0.90	0.95	0.90	0.90	0.90	1.00

軟岩 I	軟岩 II	中硬岩	硬岩 I
1.15	1.20	1.25	1.40

(例)

掘削 100m³ (地山m³)

埋戻し 20m³ (締めm³) 「土砂 建設資材 利用量(A)」欄に入力する。

22m³ (地山m³) 「一種発生土～浚渫土 ②利用量」欄に入力する。

20m³／変化率C(仮に0.9とする)＝22m³

処分 78m³ (地山m³) 「一種発生土～浚渫土 ④現場外搬出量」欄に入力する。

100m³－22m³＝78m³

(2)チェック結果について

チェック結果及び「データ登録済み確認書」のチェック結果で確認が必要な事項に下記の項目がある場合は修正する。

11.レンジオーバー

(発生箇所:工事概要)

請負金額の単位が「万円」であることを再確認し、桁間違いをしていないか確認のうえ、修正登録。

20.現場内不整合

(発生箇所:様式1土砂、様式2建設発生土)

「様式1の土砂(現場内利用量)」＝「様式2の建設発生土(現場内利用量)」となるように修正登録。

(発生箇所:様式1碎石、様式2コンクリート、アスファルト・コンクリート)

「様式1の碎石(現場内利用量)」＝「様式2のコンクリート、アスファルト・コンクリート(現場内利用量)」となるように単位換算をした数値で修正登録。

24.リサイクル率対象外

(発生箇所:様式2コンクリート、様式2アスファルト・コンクリート)

原則として、搬出先は県土整備局のコンクリート塊等処理指定工場(再資源化工場)となるため修正登録。

(発生箇所:様式2建設発生木材A、B)

原則として、搬出先は県土整備局の指定事業者の指定施設(再資源化施設)となるため修正登録。

(発生箇所:様式2建設発生土(第一種～第四種、浚渫土))

「公共建設発生土処分に係る確認仕様書」に記載のとおり、搬出先は土砂受入れから最終処分までの過程を確認できる処分地となるため修正登録。

公共建設発生土処分に係る確認処分特記仕様書

1. 請負者は、再生資源の利用促進に関する法律に基づき、当該現場から発生する建設発生土の利用促進に努めなければならない。
2. 請負者は、関係法令を遵守し、安全性などを勘案のうえ、自らの責任において処分先を選定し、適切な施工を確認しなければならない。
3. 請負者は、自ら選定した処分地に建設発生土を搬入する場合は事前に別紙「様式1」により承認書を提出しなければならない。
4. 処分地が土砂条例を設けている市町村にあっては、条例に定められた所定の手続きを行ってから発生土の搬入を開始すること。
5. 請負者は、別添「建設副産物にかかる特記仕様書」に基づき再生資源利用促進計画書及び再生資源利用促進実施書を提出すること。又、入力上の注意として施工条件の区分は「自由処分」、受入地の区分は「内陸処分（最終処分地）」とすること。
6. 請負者は処分地を選定する際、別添『最終処分地残土受入承諾書』及び処分地における事業認可の写し等、土砂受入れから最終処分までの過程を確認できる書類を添付し、また搬入土量の証明として伝票もしくは整理券等が発行できる処分地とすること。
7. 処分費については、以下の会社から1m³当りの金額について見積りを徴収した。
(積算に採用している、処分費 1 m³当りの金額については下記参照)
又、以下の4社から見積り徴収時に確認届及び最終処分地残土受入承諾書を受理している為、提出の必要はありません。

1. (有)大早輝建材	横須賀市荻野15-3	046 (856) 6224
2. 田中石材土木(株)	横須賀市長坂3-10-13	046 (856) 1931
3. (有)川島	三浦市三崎町六合427	046 (881) 7776
4. (株)伊ノ崎	横須賀市長沢2-8-14	046 (848) 4921

・処分費

土質試験なし

1. 0 m³当たり (税別) 11,000円

L=3.8 km

最終処分地残土受入承諾書

令和 年 月 日

三浦市長 殿

搬入者 〇〇〇〇〇市〇〇〇〇町〇〇番〇〇号
 〇〇会社 〇〇〇〇〇
代表取締役 〇〇〇〇〇〇

受取人 〇〇〇〇〇市〇〇〇〇町〇〇番〇〇号
 〇〇会社 〇〇〇〇〇
代表取締役 〇〇〇〇〇〇

1. 業務名（工事名） 令和〇年度 〇〇〇〇〇〇〇〇〇工事
2. 搬出場所 三浦市〇〇〇〇町地内
3. 搬入期間 令和〇〇年〇〇月〇〇日 ～ 令和〇〇年〇〇月〇〇日まで

上記の工事（業務）について発生した残土を、受入れることを承諾いたします。

週休2日制確保工事に関する特記仕様書（土木工事）

1 週休2日制確保工事について

- ・ 本工事は、「三浦市週休2日制確保工事試行要領（土木工事）」に基づき実施するものとする。
- ・ 試行要領や提出書類等は、下記のホームページから入手すること。

<入手先>

三浦市ホームページ（週休2日制工事）

https://www.city.miura.kanagawa.jp/shigoto_sangyo_machizukuri/nyusatsu_keiyaku/11074.html

2 週休2日制確保工事实施の内容

- ・ 受発注者は、工事着手前の施工計画書作成段階において、工期全体に影響を与える事項について情報共有することとする。
- ・ 受注者は、毎週、先週の実績と今週の計画工程を示した週間工程表を監督員に提出する。
- ・ 受注者は、当月分の「現場閉所実績報告書」（別紙1）を、翌月の5日までに監督員に提出する。
- ・ 受注者は、原則として、工事完成届提出日の20日前までに、最終月の「現場閉所実績報告書」（別紙1）及び対象期間全体の「現場閉所履行報告書」（別紙2）を作成し、監督員へ提出する。
- ・ 受注者は、公衆の見やすい場所に、週休2日制確保工事である旨を明示する。記載内容は次の例を基本とし、大きさはA3サイズ以上とする。

記載内容の例

週休2日制に取り組む工事

この工事は、建設産業の労働環境を改善するため、週休2日の確保に取り組む工事です。

発注者： 三 浦 市

受注者： ○○建設㈱

施 工 条 件 明 示 書

工 事 名 : 令和7年度 宮川公園整備工事

明示項目	対象の有無	明示事項	内 容			関連特記仕様書等
工程関係	☐	1. 他の工事の開始又は 完了の時期による影響	影響が生じる他の工事 影響箇所 影響する内容 他の工事の開始時期 他の工事の完了時期			
	☐	2. 施工時期、施工時間 及び施工方法の制限	制限を受ける施工内容 制限を受ける施工時期 制限を受ける施工時間 制限を受ける施工方法			
	☒	3. 関係機関等との協議 の未成立	未成立協議内容 風車事業者との協議 協議成立見込み時期 未定			
	☐	4. 関係機関等との協議 した結果、工程に影響 を及ぼす項目と範囲	影響項目 影響範囲			
	☐	5. 余裕工期を設定した 場合の工事の着手時期	全体工期 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 着手時期 令和 年 月 日 留意事項			
	☐	6. 地下埋設物・埋蔵文 化財等の事前調査及び 移設期間	地下埋設物・埋蔵文化財 の種類	事前調査・移設の期間		
				令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		
			令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日			
			令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日			
☐	7. 設計上見込んでいる 休日日数等以外の作業 不能日数	休日日数等以外の作業不能日数		内 容		
用地関係	☐	1. 工事用地等の未処理 部分	場 所	範 囲	処理の見込み時期	
					令和 年 月 日頃	
					令和 年 月 日頃	
					令和 年 月 日頃	
	☐	2. 工事用地等の使用終 了後における復旧内容	復旧場所 面積等数量 復旧方法 復旧における条件			
	☐	3. 工事用仮設道路・資 器材置場用の民有地等 の借地	使用目的 使用場所 使用範囲 使用時期 令和 年 月 日頃 使用期間 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日			
	☐	4. 発注者が借り上げた 土地の使用	使用目的 使用場所 使用範囲 使用時期 使用期間			

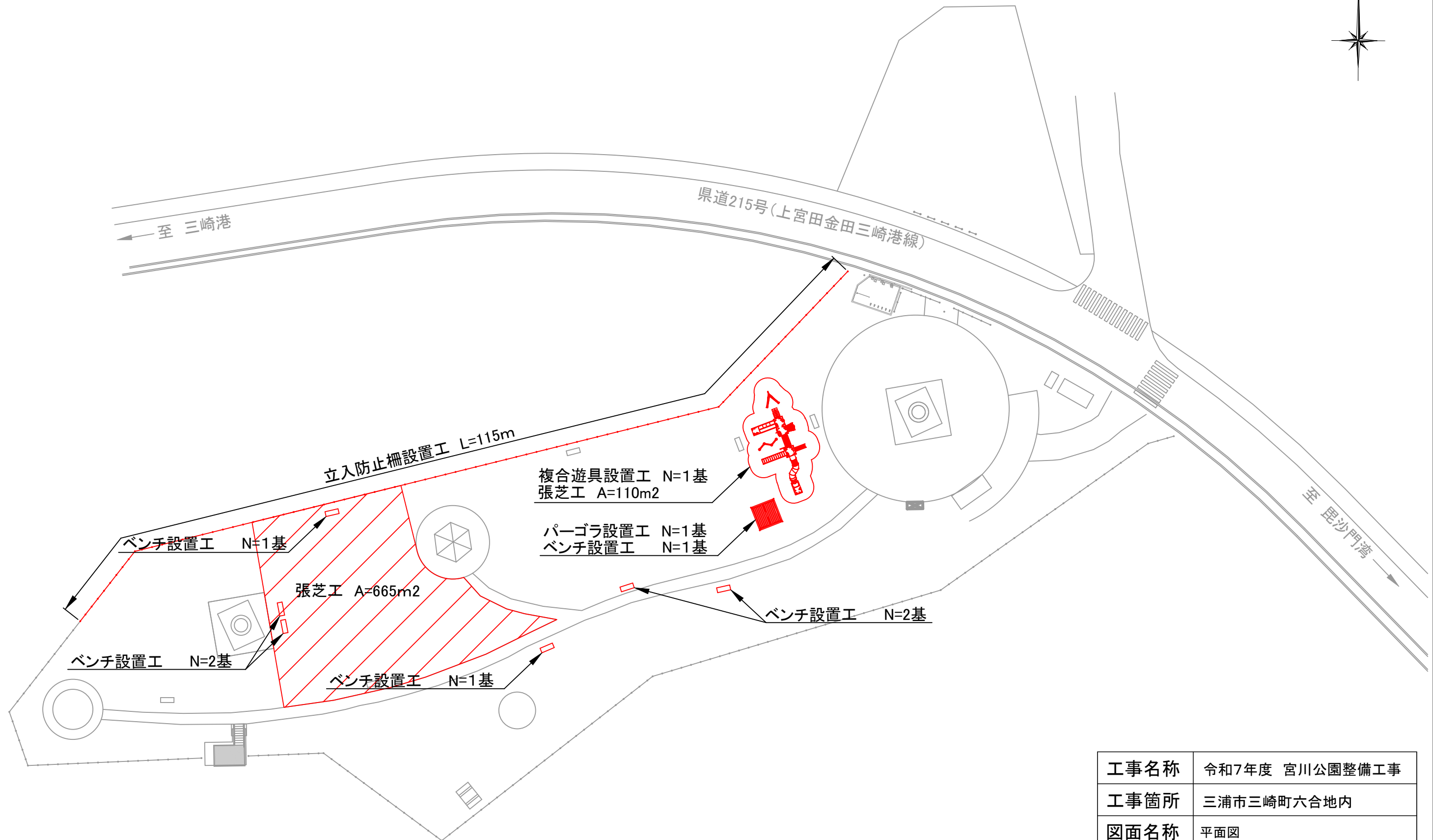
明示項目	対象の有無	明示事項	内 容				関連特記仕様書等	
公害関係	☒	1. 工事に伴う公害防止 (騒音、振動、粉塵、 排出ガス等) 対策	対象となる工種 工事全般 施工方法の制限 機械施設の制限 排出ガス対策型、低騒音 作業時間の制限 開始 時 分 から 時 分 まで					
	☐	2. 水替え・流入防止施 設	対象となる工種 使用期間 日間					
	☐	3. 濁水、湧水等の処理 対策	対象工種	処理方法		備 考		
	☐	4. 事業損失防止関係	調査対象	事前・事後	調査範囲 対象件数	調査方法		
安全対策関係	☐	1. 交通安全施設等の指 定	交通安全施設	工 種	設置期間	内 容		
	☐	2. 近接工事での施工方 法、作業時間等の制限	近接する施設 施工方法の制限 作業期間の制限 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 作業時間の制限 開始 時 分 から 時 分 まで					
	☐	3. 落石、土砂崩落等に 対する防護施設	防護施設の内容					
	☐	4. 交通誘導員、警戒船 等の保安設備、保安要 員の配置	保安要員種別	規制等方法	交代要員	配置時間帯	人員数・規格	
	☐	5. 有毒ガス及び酸素欠 乏等の換気設備等対策	危険要因	工 種	危険防止対策の工法内容、設備の規格・規模			
工事用道路関係	☐	1. 工事用資機材等の搬 入経路、使用期間等の 制限	搬入経路 使用期間 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 使用時間帯 開始 時 分 から 時 分 まで					
	☐	2. 搬入路の使用後及び 使用後の処置	区間 期間 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 処置内容					
	☐	3. 仮設道路の設置	区間 安全施設の内容 安全施設の期間 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 工事終了後の処置 存置・撤去 維持補修内容					

明示項目	対象の有無	明示事項	内 容				関連特記仕様書等																																									
仮設備関係	☐	1. 仮設物（仮主留、足場等）の他の工事への転用もしくは兼用	【他工事へ引き渡す場合】 仮設物の内容 引き渡し時期 令和 年 月 日頃 維持管理等条件 【引き継いで使用する場合】 仮設物の内容 引き継ぎ時期 令和 年 月 日頃 確認事項 条件等																																													
	☐	2. 仮設備の構造及び施工方法の指定	仮設備の構造 仮設備の施工方法																																													
	☐	3. 仮設備の設計条件の指定	指定内容																																													
建設副産物関係	☒	1. 残土の受入れ及び仮置き場所までの距離、保管条件	指定処分の有無 有 ☒ 無 指定処分の場合の受入地 仮置きの有無・距離 有 ・ 無 km 仮置き場の選定条件				公共建設発生土処分に係る確認処分特記仕様書																																									
	☒	2. 建設副産物及び建設廃棄物の処理	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>受入場所</th><th>運搬距離</th><th>受入条件</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>建設発生土</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	名称	受入場所	運搬距離	受入条件	備考	建設発生土																																							
名称	受入場所	運搬距離	受入条件	備考																																												
建設発生土																																																
工事支障物件等	☐	1. 占用物件の有無及び占用物件等による工事支障物の存在	<table border="1"> <thead> <tr> <th>支障物件</th><th>占用者</th><th>移設・撤去・防護の時期</th><th>移設・撤去・防護の期間</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	支障物件	占用者	移設・撤去・防護の時期	移設・撤去・防護の期間																																									
	支障物件	占用者	移設・撤去・防護の時期	移設・撤去・防護の期間																																												
☐	2. 地上、地下等の占用物件工事との重複施工	占用物件工事の有無 有 ・ 無 占用者 工事期間 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日																																														
薬液注入関係	☐	1. 薬液注入工法の施工	工法区分 材料種類 施工範囲 削孔数量 注入量																																													
	☐	2. 周辺環境への調査																																														
その他	☐	1. 工事用資機材の保管及び仮置き	工事用資機材名称 保管・仮置き場所 保管・仮置き期間 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日																																													

明示項目	対象の有無	明示事項	内 容					関連特記仕様書等	
	☐	2. 工事現場発生品	現場発生品	再利用の有無	数量	引渡し場所	運搬距離		
	☐	3. 支給材料及び貸与品	支給・貸与品名称 数量・品質 規格又は性能 引渡し期間 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日						
	☐	4. 関係機関・自治体等との近接協議に係る条件等							
	☐	5. 架設工法の指定	施工方法 施工条件						
	☐	6. 工事用電力等の指定							
	☐	7. 新技術・新工法・特許工法の指定	工法名称 内容						
	☐	8. 部分使用	使用箇所 使用時期 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日						
	☐	9. 給水の必要	取水箇所 方法等						
	☒	10. 検査日程	検査日程については、工期1週間前までを原則とする。						
☐									
☐									
☐									

※上記以外に条件明示が必要な場合は、追加して条件を明示すること。

平面図

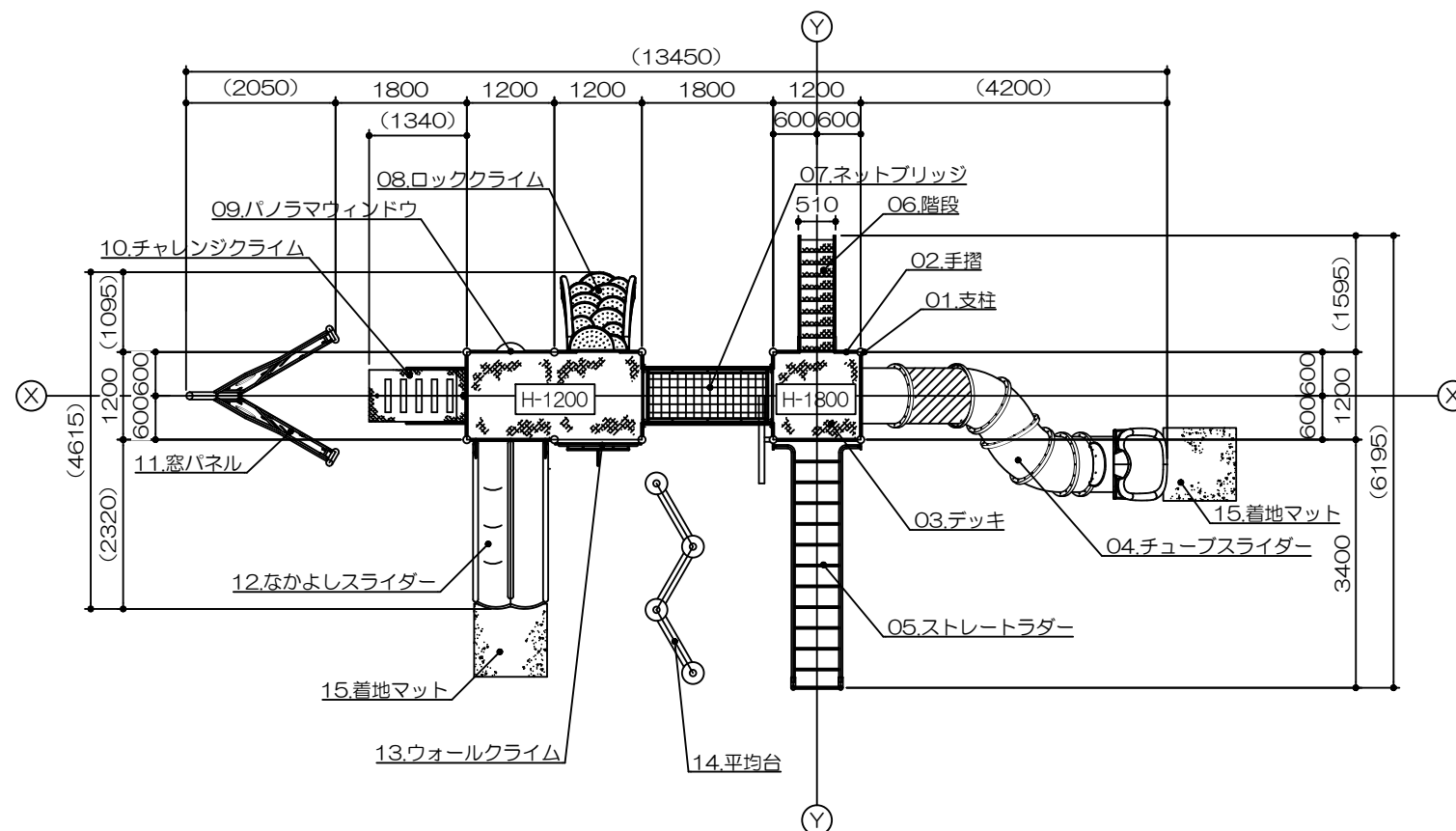


工事名称	令和7年度 宮川公園整備工事		
工事箇所	三浦市三崎町六合地内		
図面名称	平面図		
縮尺	1/500	図面番号	1/6
三浦市都市環境部土木課			

複合遊具構造図（1）

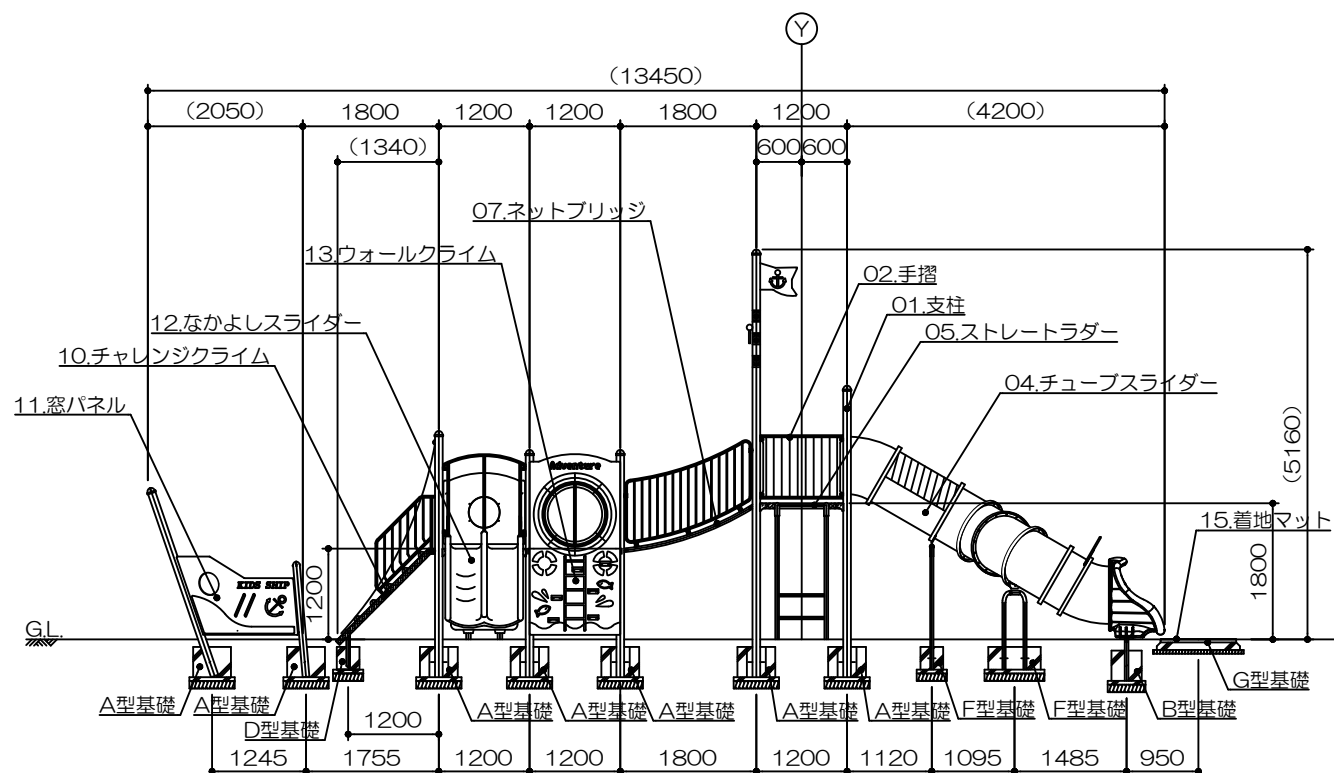
平面図

S= 1 : 100



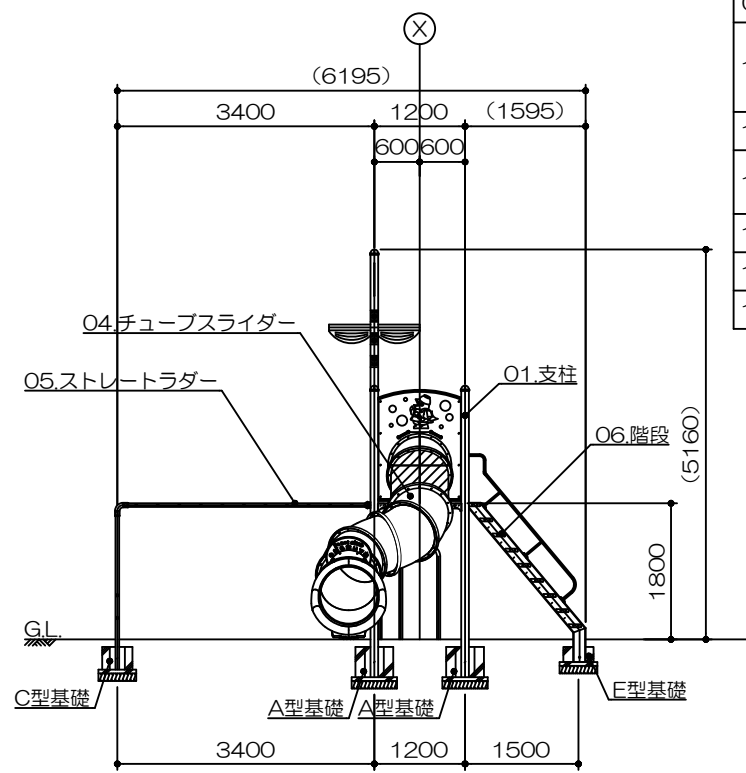
立面図

S= 1 : 100



側面図

S= 1 : 100



特記事項（O）

塗装 下地：ジンクロメートメッキ（スーパースチール部は除く）

下塗：特殊エポキシ樹脂系プライマー塗装

仕上：合成樹脂高温焼付塗装

ボルト・ナットは全てステンレスとする。

スーパースチール（主要支柱、階段ささら）は、高耐食メッキ材とする。

滑り止めは、米ヒバ材半丸太（無処理）とし、洗水性T-WPステイン塗装仕上とする。

樹脂製スライダー部分については、素材及び製作方法の特性上、

形状寸法が若干異なる場合があります。

製品は、ISO9001・ISO14001両規格認証取得企業で製造された製品とする。

製品は、SP表示認定企業で製造された製品とする。

製品は、（一社）日本公園施設業協会・団体賠償責任保険に加入した製品とする。

製品は、（一社）日本公園施設業協会が策定した

「遊具の安全に関する規準（JPFA-SP-S：2024）」に適合した製品とする。

製品の対象年齢は、3～6歳とする。

アイテムリスト

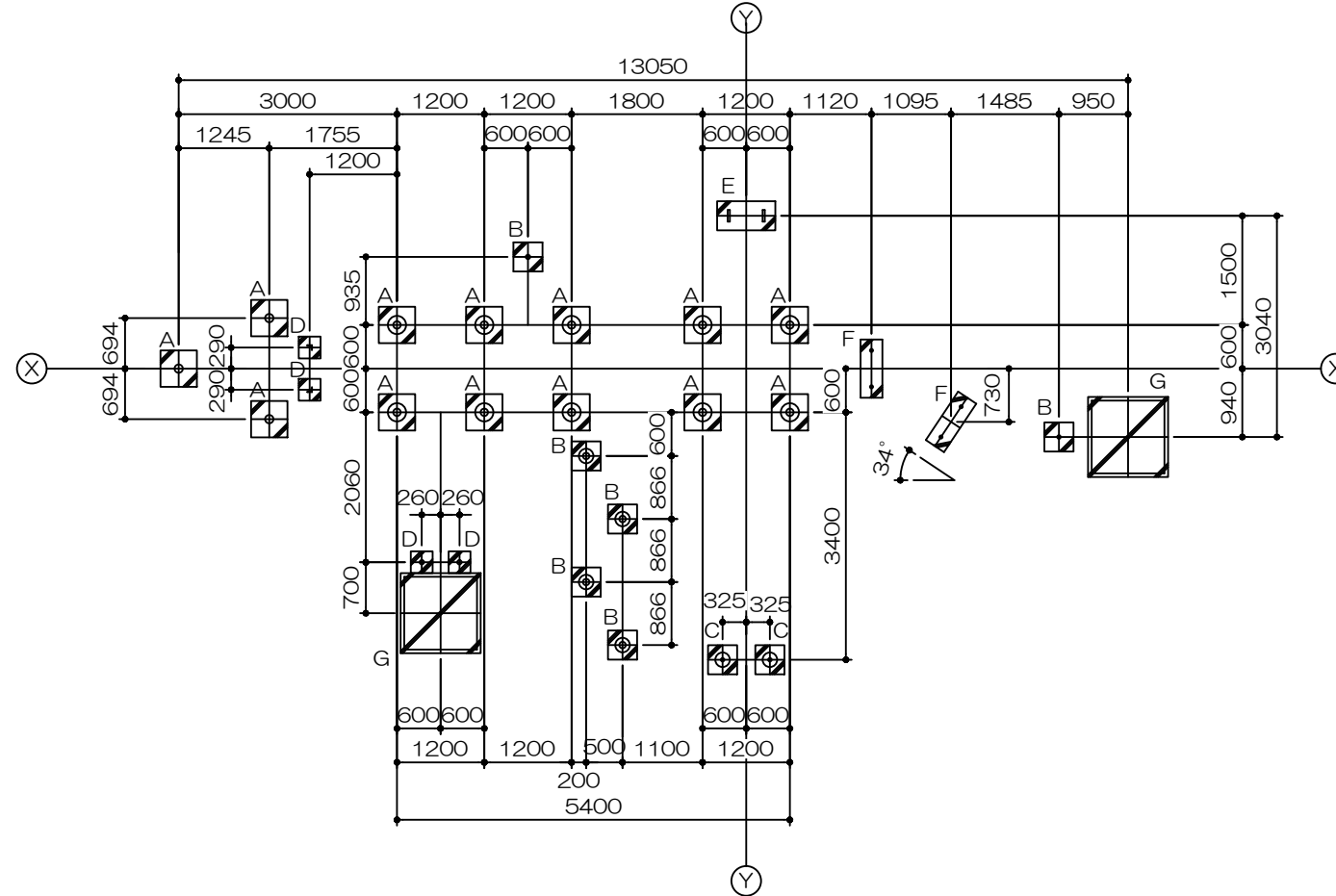
No	アイテム名	主要部材	数量
01	支柱	鋼管（スーパースチール）	- 基
02	手摺	手 摺：27.2φ 手摺子：RB-13φ	- 基
03	デッキ	縞鋼板	- 基
04	チューブスライダー	低密度ポリエチレン樹脂回転成型品 (Po)	1 基
05	ストレートラダー	27.2φ	1 基
06	階段	手 摺：27.2φ ささら：鋼板曲げ加工品 （スーパースチール） 踏 板：縞鋼板曲げ加工品 （溶融亜鉛メッキ仕上・無塗装）	1 基
07	ネットブリッジ	テトロンネット 16φ 115角目	1 基
08	ロッククライム	低密度ポリエチレン樹脂回転成型品 (Po)	1 基
09	パノラマウィンドウ	高密度ポリエチレン樹脂板 t=19mm	1 基
10	チャレンジクライム	手 摺：27.2φ 床 板：縞鋼板 滑り止め：米ヒバ材半丸太 90φ	1 基
11	窓パネル	高密度ポリエチレン樹脂板 t=19mm	1 基
12	なかよしスライダー	低密度ポリエチレン樹脂回転成型品 (Po)	1 基
13	ウォールクライム	高密度ポリエチレン樹脂板 t=19mm	1 基
14	平均台	弾性ゴム製	1 基
15	着地マット	弾性ゴム製 t=45mm (MOO4・GR)	2 枚

工事名称	令和7年度 宮川公園整備工事		
工事箇所	三浦市三崎町六合地内		
図面名称	複合遊具構造図(1)		
縮尺	図 示	図面番号	2/6
三浦市都市環境部土木課			

複合遊具構造図 (2)

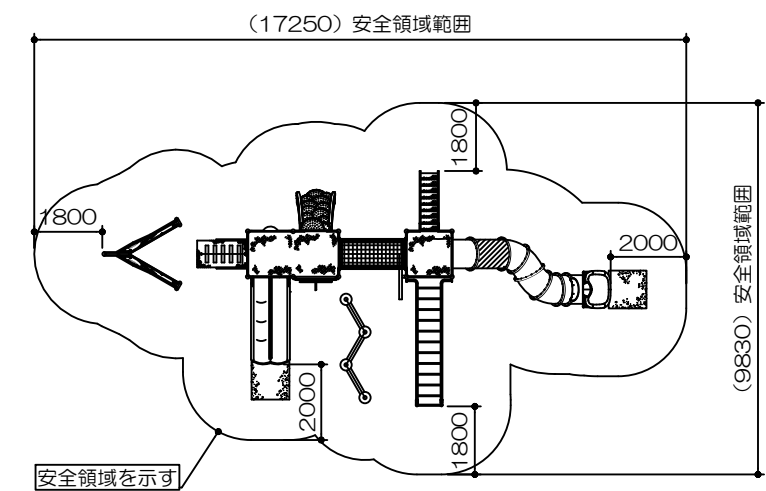
基礎平面図

S= 1 : 100



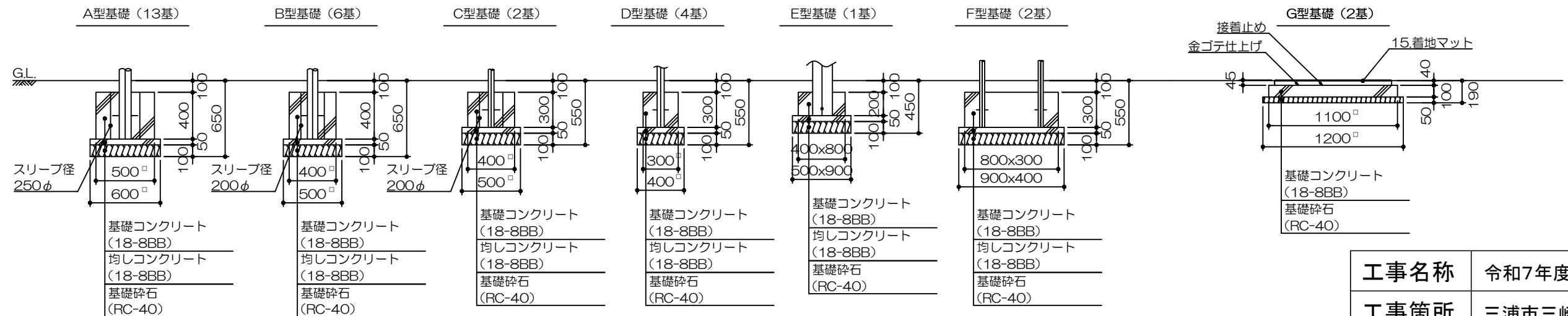
安全領域図

S= 1 : 200



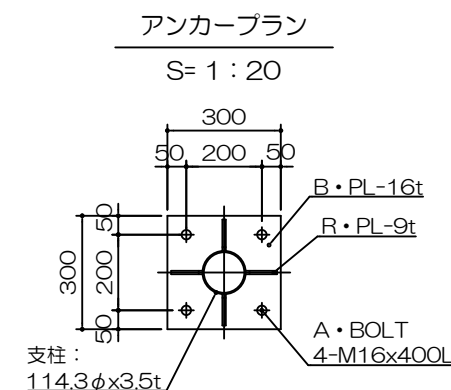
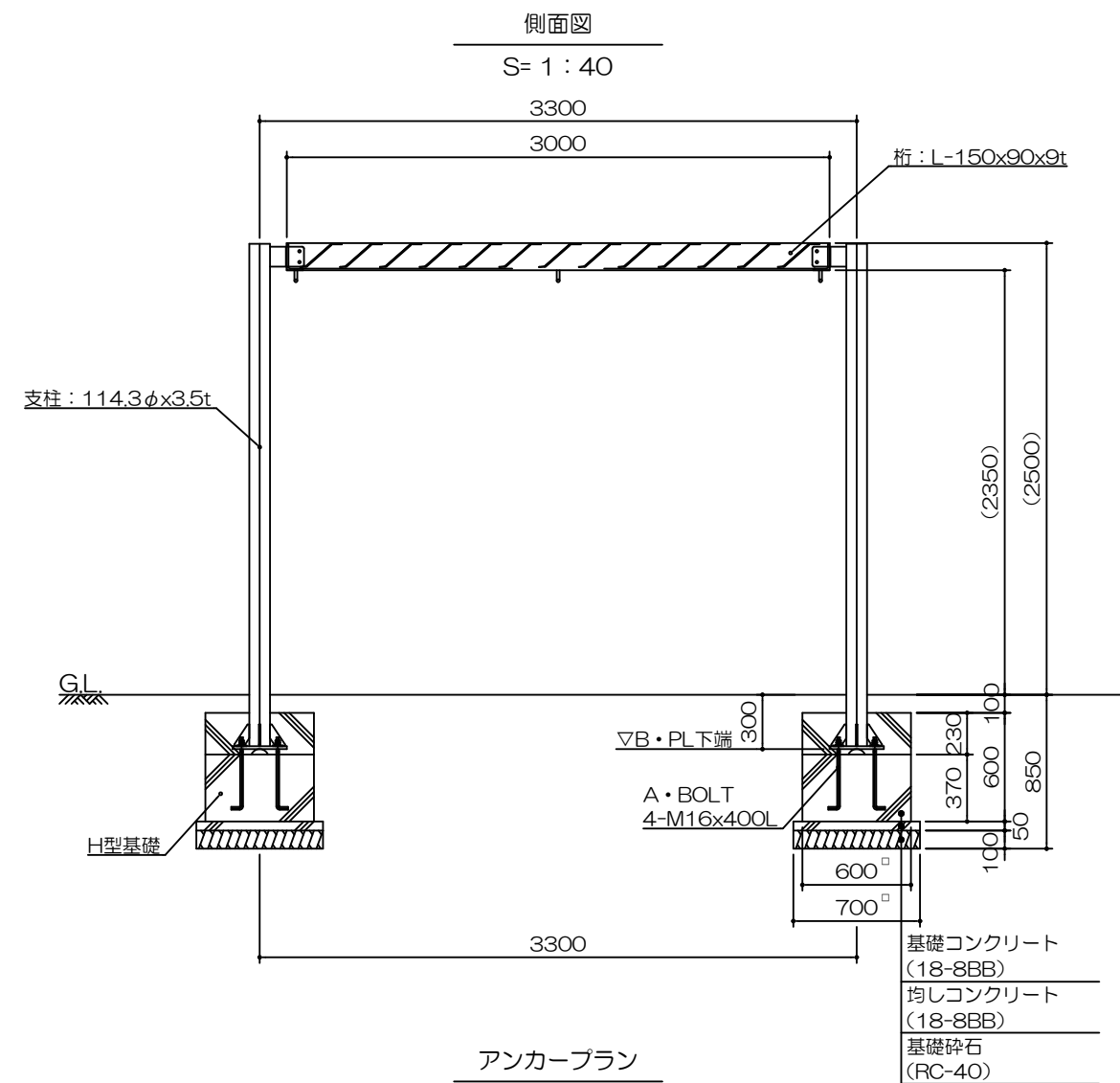
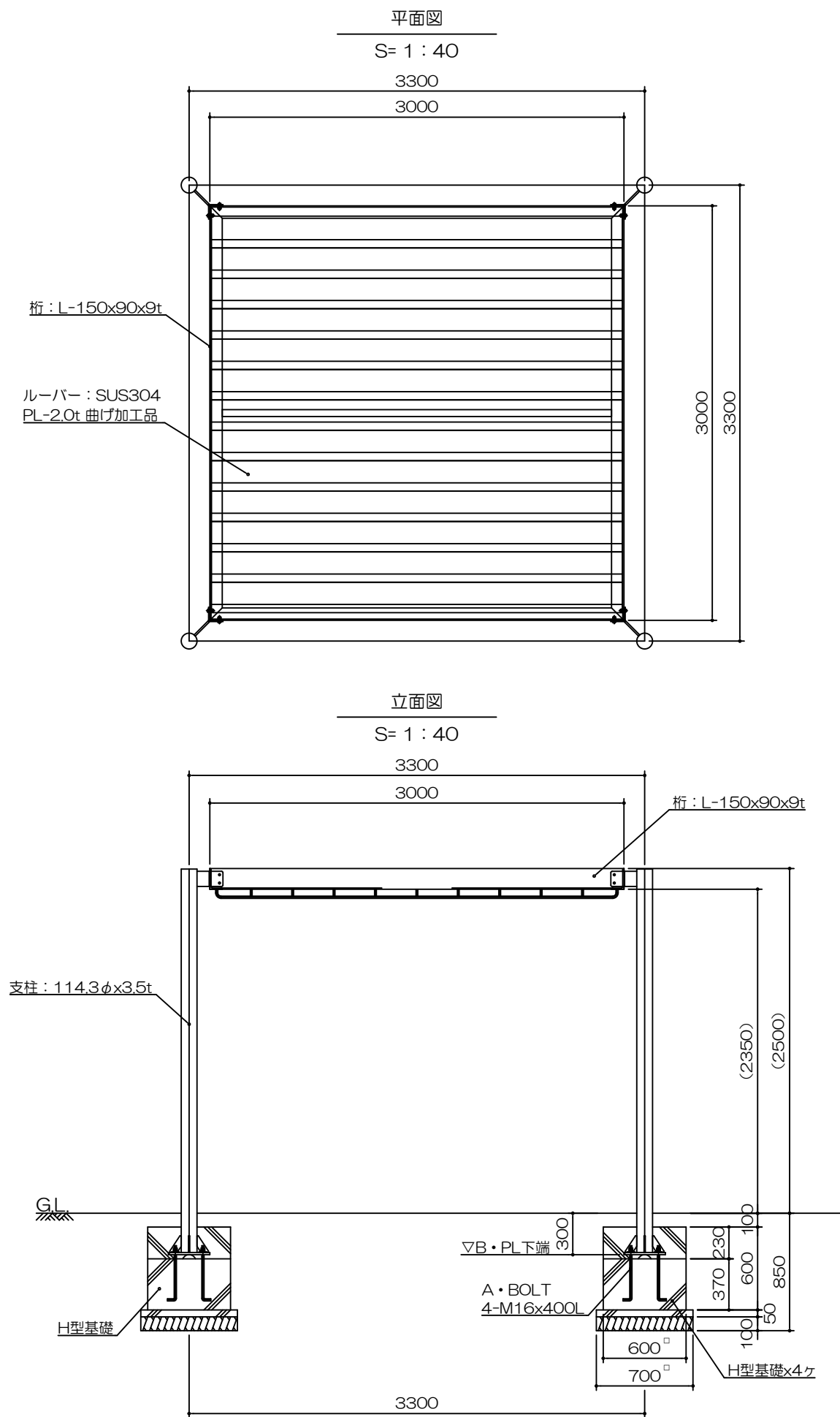
基礎構造図

S= 1 : 40



工事名称	令和7年度 宮川公園整備工事		
工事箇所	三浦市三崎町六合地内		
図面名称	複合遊具構造図(2)		
縮尺	図 示	図面番号	3/6
三浦市都市環境部土木課			

パーゴラ構造図



特記事項

塗装（ステンレス部）

下塗：特殊エポキシ樹脂系プライマー塗装

仕上：合成樹脂高温焼付塗装

（スチール部）

下地：ジंकロメートメッキ

下塗：特殊エポキシ樹脂系プライマー塗装

仕上：合成樹脂高温焼付塗装

ボルト・ナットは全てステンレスとする。

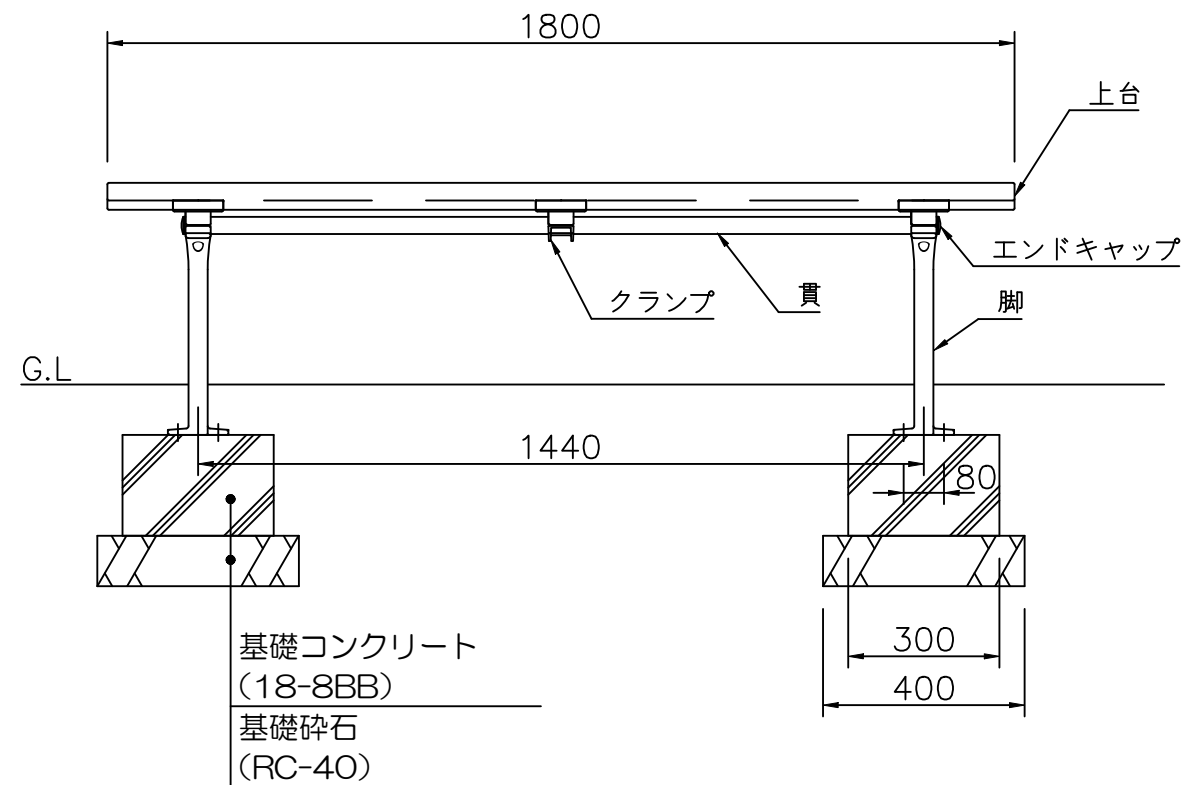
製品は、ISO9001・ISO14001両規格認証取得企業で製造された製品とする。

製品は、（一社）日本公園施設業協会・団体賠償責任保険に加入した製品とする。

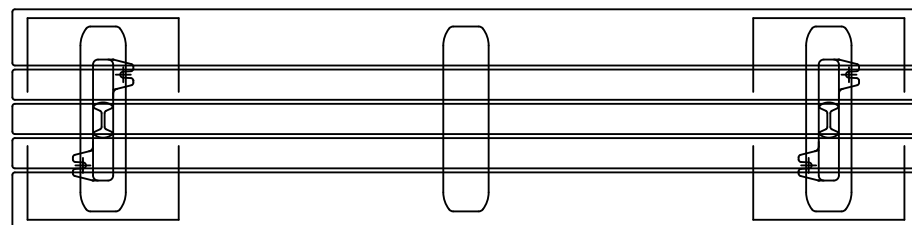
工事名称	令和7年度 宮川公園整備工事		
工事箇所	三浦市三崎町六合地内		
図面名称	パーゴラ構造図		
縮尺	図 示	図面番号	4/6
三浦市都市環境部土木課			

ベンチ構造図

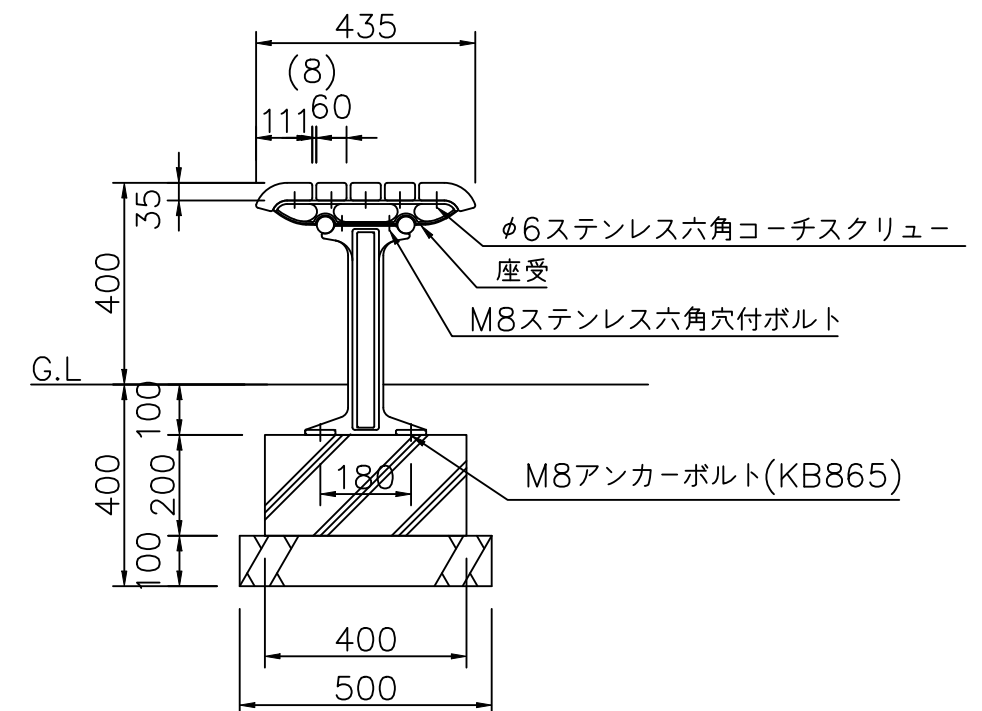
正面図



平面図



側面図



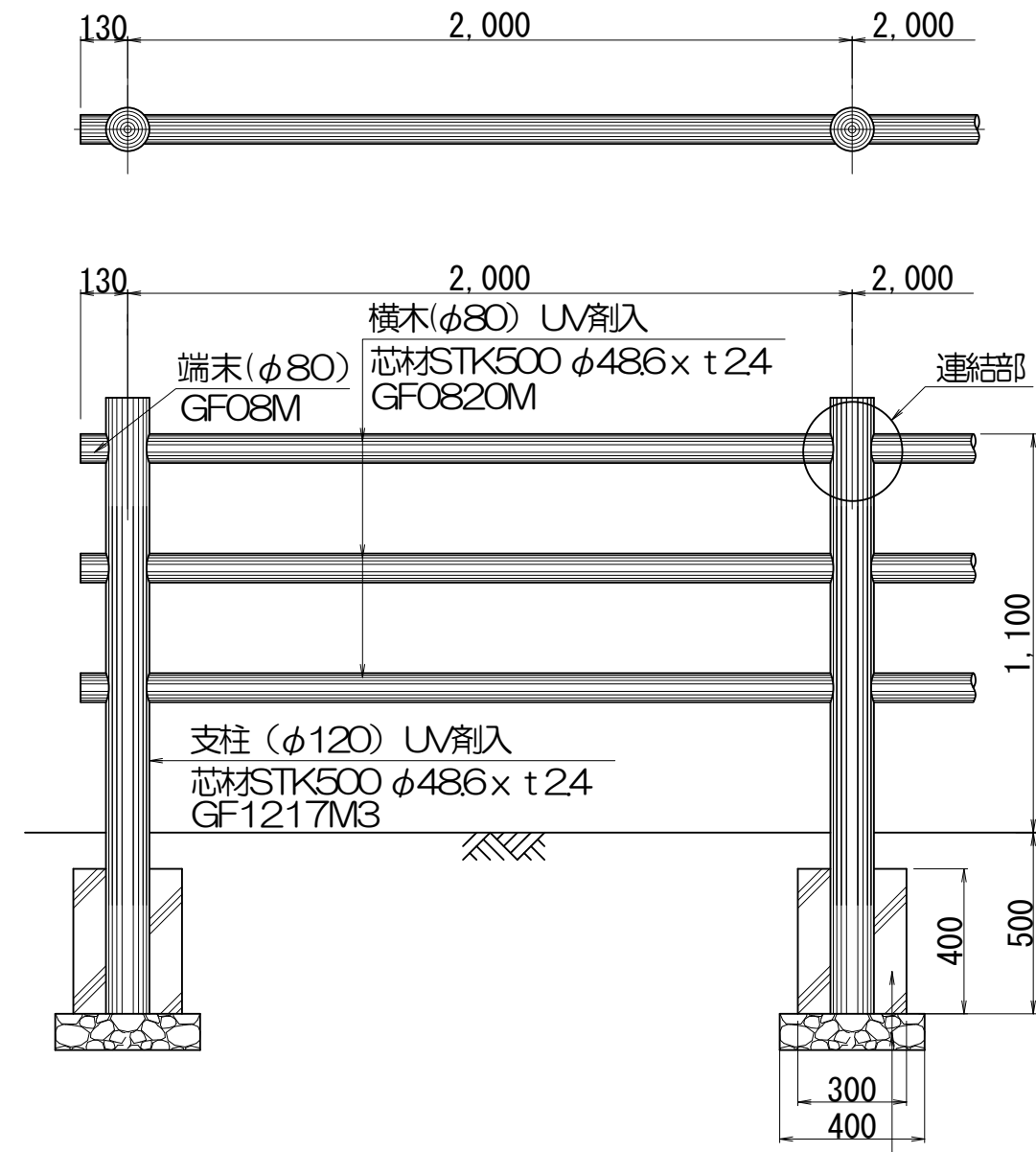
- 上台 : REKWOOD2 (レッド)
座受 : アルミ合金鋳物 合成樹脂塗装 (アースグレー)
貫 : $\phi 34$ アルミ押出形材 アルマイト仕上 (ブラック)
樹脂エンドキャップ付 (ブラック)
クランプ : アルミ合金鋳物 合成樹脂塗装 (アースグレー)
脚 : アルミ合金鋳物 合成樹脂塗装 (アースグレー)
質量 : 48kg

- ※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品です。
※(一社)日本公園施設業協会 SPL表示認定企業の製造製品です。
※(一社)日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品です。

工事名称	令和7年度 宮川公園整備工事		
工事箇所	三浦市三崎町六合地内		
図面名称	ベンチ構造図		
縮尺	1/15	図面番号	5/6
三浦市都市環境部土木課			

立入防止柵構造図

平面図

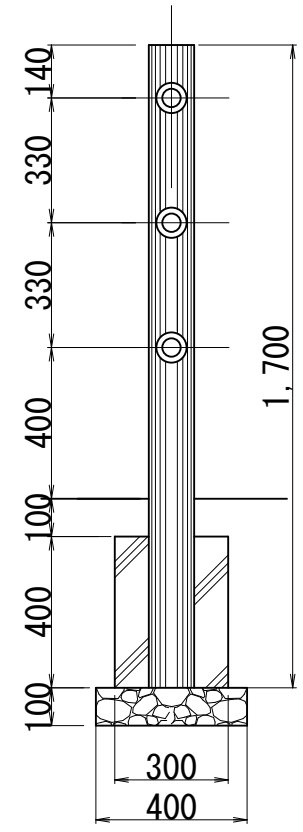
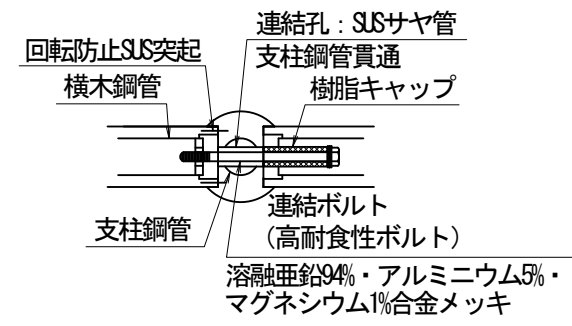


部材数量表 20m当り

品名	品番	標準寸法D×Lmm	標準重量kg	数量	単位
支柱	GF-1217-M3	120X1700	16.5	11	本
横木	GF-0820-M	80X1940	11.0	30	本
端末	GF-08-M	80X100	0.4	6	本

基礎コンクリート (18-8BB)
基礎砕石 (RC-40)

連結部詳細図



【特記】

- ※樹脂部はリサイクルプラスチック(エコマーク認定品)
- ※賠償責任保険加入品
- ※使用鋼管は溶融亜鉛メッキ品
- ※再生プラスチック擬木 色：ダークブラウン (UV剤7.5%入)
外観：クヌギ肌模様
- ※製品は横木の回転防止を施した仕様。
- ※連結ボルトは高耐食性 Zn94%・Al5%・Mg1%合金メッキとする。
- ※図面寸法は標準値、寸法公差は品質証明書にてご確認下さい。

工事名称	令和7年度 宮川公園整備工事		
工事箇所	三浦市三崎町六合地内		
図面名称	立入防止柵構造図		
縮尺	1/20	図面番号	6/6
三浦市都市環境部土木課			